

令和4年度地域課題研究ゼミナール支援事業 「地域からの要望」

※要望書は課題ごとに作成してください。

I 申請団体及び連絡担当者

市町名	輪島市、珠洲市、 穴水町、能登町	団体名	奥能登ウェルカムプロジェクト推進協 議会
連絡担当者 ※活動の窓口となる担当 者を記入してください。	所 属：事務局（石川県奥能登総合事務所） 役職・氏名：事務局員 杉森 蓉子 電話番号：TEL 0768-26-2303 FAX 0768-26-2305 メールアドレス：arai-j@city.kahoku.lg.jp		

II 要望内容

1 地域が有する課題 (困っていること) ※地域の現況を記載して ください。 ※イメージ図や写真が あれば貼付してください。	概要 (1行程度)	奥能登地域の「のとキリシマツツジ」を今後どう管理していく か。
	内容	奥能登は、全国有数のキリシマツツジの古木が残る地域だが、 近年の急速な過疎化、所有者の高齢化により、その維持管理が 困難となり、貴重な古木が衰弱するなどの事例が増加してい る。
2 課題解決に向けて 地域ができること	開花時期に合わせたオープンガーデンの開催や、木の状態の診断を行うアド バイザー派遣事業等を実施している。	
3 課題解決に向けて 大学に期待する活動 ※どちらかに○をつけ、右 枠に大学に期待する活動 内容を記入してください。	()	①地域課題の調査・分析、地域活性化策の提案 (地域課題発掘枠)
	(○)	②地域課題の解決において実践的な活動 (地域共創支援枠) キリシマツツジの維持管理を手伝うボランティア制度の創設・ 効果的な運営方法の検討。

※「3 課題活動に向けて大学に期待する活動」とは、大学の専門性（観光、まちづくり、農業、
デジタル技術 等）や、学生の若い感性を活かした活動を指します。

4 課題解決に向けたこれまでの取組み・成果及び令和4年度の成果目標 ※これまでに取組みを実施していない場合は、令和4年度の成果目標のみ記載してください。	開花時期に合わせたオープンガーデンの開催や、木の状態の診断を行うアドバイザー派遣事業等を実施している。 加えて、令和4年度中にボランティア制度の創設を目指している。
5 大学のゼミ等の活動に対する地域からの支援 ※ゼミ等の活動に対し、地域で支援できる事項があれば可能な限り具体的に記入してください。	関係者との連絡調整や現地調査等への同行など。 (その他必要に応じて検討可能。)
6 地域での連携団体・企業 ※活動を行う際に情報収集や意見交換等で連携する団体等があれば記入してください。	のとキリシマツツジ連絡協議会

Ⅲ 連携して取り組みたい大学のゼミ等について ※希望があれば記入してください。

1 連携して取り組みたい大学・ゼミ教員名	特になし。
2 連携を希望するゼミ等と事前に申請内容を相談していますか。 ※どちらかに○をつけてください。	() ①ゼミ等と事前に申請内容を相談している。 (○) ②ゼミ等と事前相談していない。

令和4年度地域課題研究ゼミナール支援事業 「地域からの要望」

※要望書は課題ごとに作成してください。

I 申請団体及び連絡担当者

市町名	珠洲市	団体名	栗津自彊団（あわづじきょうだん）
連絡担当者	所 属：栗津自彊団		
※活動の窓口となる担当者を記入してください。	役職・氏名：濱山 隆浩		
	電話番号：090-2098-8063		FAX：0768-88-2262
	メールアドレス：altozzan@gmail.com		

II 要望内容

1 地域が有する課題 (困っていること) ※地域の現況を記載してください。 ※イメージ図や写真があれば貼付してください。	概要 (1行程度)	キリコ祭り（秋祭り）の文化の継続・継承
	内容	奥能登では数多くの地域で祭りが行われていますが、近年は過疎化・高齢化の影響により継続が困難になってきています。 祭り文化を継続させることができず、祭り自体が消滅している地区も増加しています。 私たちの珠洲市栗津地区でも、あと数年で従来通りの方法で祭りを行うことが困難になる可能性が高い状況です。 現在私たちの地域では、キリコの担ぎ手不足を解消するため学生の力を借りています。
2 課題解決に向けて地域ができること	永続的に祭りを継続させていくために、祭りの実施を担う外部人材の確保と祭りのアーカイブ化について、大学等と協働して取り組んでいきたいと考えています。 アーカイブ化については、現在行っている祭りの詳細を映像や文章で記録することで、祭りの安定的な継承につなげたいと考えています。 特に、祭り囃子の横笛は演奏技術の継承が難しくなっていることから、その演奏の録音・録画、楽譜の作成に重点的に取り組みたいと考えています。	
3 課題解決に向けて大学に期待する活動 ※どちらかに○をつけ、右枠に大学に期待する活動内容を記入してください。	()	①地域課題の調査・分析、地域活性化策の提案 (地域課題発掘枠)
	(○)	②地域課題の解決において実践的な活動 (地域共創支援枠) ・祭りを担う外部人材と連携するための仕組み作り ・祭りの継承ための協働活動への学生の派遣 ・祭りのアーカイブ化に関連する聞き書き調査や録画編集等の支援

※「3 課題活動に向けて大学に期待する活動」とは、大学の専門性（観光、まちづくり、農業、デジタル技術 等）や、学生の若い感性を活かした活動を指します。

4 課題解決に向けたこれまでの取組み・成果及び令和4年度の成果目標 ※これまでに取組みを実施していない場合は、令和4年度の成果目標のみ記載してください。	これまでの7年間、「能登・祭りの環インターンシップ」によりキリコの担ぎ手確保の支援を受けたほか、祭りの体験活動も実施してきましたが、参加学生の卒業後の参加の継続が困難な状況です。 令和4年度は、大学との協働により、 1) SNS等による地域の情報発信、 2) 外部人材の祭り参加受入、 3) 祭りに関心のある大学生や祭り参加経験のある卒業生など、外部人材と地域をネットワークでつなぎ、マネジメントする事務局の組織、 4) 祭り全体、特に囃子の横笛の録音・録画、楽譜の作成の実施、の4点を成果目標として考えています。
5 大学のゼミ等の活動に対する地域からの支援 ※ゼミ等の活動に対し、地域で支援できる事項があれば可能な限り具体的に記入してください。	・学生受け入れ時の活動 ・宿泊場所等の提供・地域における大学の調査研究、ゼミ等の活動に対する支援（インフォーマントの紹介等）
6 地域での連携団体・企業 ※活動を行う際に情報収集や意見交換等で連携する団体等があれば記入してください。	・奥能登キャンパス推進協議会、 ・能登・祭りの環インターンシップ ・能登里山里海SDGsマイスター関係者 ・珠洲市粟津地区 自彊団

Ⅲ 連携して取り組みたい大学のゼミ等について ※希望があれば記入してください。

1 連携して取り組みたい大学・ゼミ教員名	・石川県立大学 生物資源環境学部 環境科学科 長野峻介先生 ・金沢大学 先端科学・社会共創推進機構 小林秀輝先生（能登学舎） ※2つの大学と協働した活動を実施予定です。
2 連携を希望するゼミ等と事前に申請内容を相談していますか。 ※どちらかに○をつけてください。	(○) ①ゼミ等と事前に申請内容を相談している。 () ②ゼミ等と事前相談していない。

令和4年度地域課題研究ゼミナール支援事業 「地域からの要望」

※要望書は課題ごとに作成してください。

I 申請団体及び連絡担当者

市町名	能登町	団体名	合同会社能登みらい創造ネットワーク
連絡担当者	所 属：代表		
※活動の窓口となる担当 者を記入してください。	役職・氏名：竹内 剛		
	電話番号：080-3480-2912		FAX：0768-76-1681
	メールアドレス：sbcvpmk6@outlook.jp		

II 要望内容

1 地域が有する課題 (困っていること) ※地域の現況を記載してください。 ※イメージ図や写真があれば貼付してください。	概要 (1行程度)	整合性のとれた空間デザインを伴うマスタープランの策定
	内容	やなぎだ植物公園指定管理者として様々な地域振興策を企画し逐次、実施に移してきました。 今後、整合性のとれた空間デザインを伴うマスタープランの策定が不可欠と認識していますが、事業者を含めて対応できる場所がありません。 広大な面積を要する植物公園の可能性を顕在化させ、ここを中心とした広域的な観光資源開発に取り組んできました。 例えば能登ガーデンツーリズム推進協議会を組織し、公園内にイングリッシュガーデン、里山ガーデンを造成したところです。 この機会を活かし、世界1のジェラート店の称号を持つマルガー社と提携してオリジナルのバラのジェラートシリーズを開発して4月に上梓します。 天文台と花の公園をモチーフにした地域ブランド「星花セレクト」を市場化するとともに、地域の特産品であるブルーベリー農園を公園の傍に開園。 海側と公園を結ぶ道路沿いに大規模花の景観施設を作る計画も手掛けております。 これら個別の事業をイメージの世界でなく、空間デザインとして設計することが重要になってきています。
2 課題解決に向けて 地域ができること	地元の企業や個人の支援を受けながら既存の事業の延長線上に、着実に全体構想の実現を図る姿勢で取り組んでおります。 今後もこの方針を変えずに、地元の支持を得ながら事業を進めていく考えですが、支持基盤の拡大のために空間デザインの見える化が必要な時期に入っています。	

3 課題解決に向けて 大学に期待する活動 ※どちらかに○をつけ、右 枠に大学に期待する活動 内容を記入してください。	()	①地域課題の調査・分析、地域活性化策の提案 (地域課題発掘枠)
	(○)	②地域課題の解決において実践的な活動 (地域共創支援枠) ・地域振興にかかわる構想の見える化（空間デザインから構想 の再吟味 ・必須条件の洗い出し）を行います ・人の動線から建物設計や既存建物内の配置の再検討 (投資効率の最適化）を行います

※「3 課題活動に向けて大学に期待する活動」とは、大学の専門性（観光、まちづくり、農業、デジタル技術 等）や、学生の若い感性を活かした活動を指します。

4 課題解決に向けた これまでの取組み・成果 及び令和 4 年度の成果 目標 ※これまでに取組みを 実施していない場合は、令和 4年度の成果目標のみ記載 してください。	・公園内に設置したイングリッシュガーデン、里山ガーデンを活用したガー デン ・ウェディングのデザイン（過疎地だから結婚式場がないという課題を解決 します。） ・観光資源としての大規模花の景観施設の設計に取り組みます（牧場跡地の 整備事業に向けた予備調査）＝観光施設としての誘客コンテンツを造成する 計画です。
5 大学のゼミ等の活動 に対する地域からの支 援 ※ゼミ等の活動に対し、地 域で支援できる事項があ れば可能な限り具体的に 記入してください。	・ゼミ生の宿泊研究に公園内コテージを提供し、腰を据えた調査研究ができ るようにします。 ・地域内の関係者（個人・事業者を含む）をこちらが組織することで、調査・ 研究の時間短縮や課題のあぶり出しを容易にすることができます。 すでに組織化・ネットワーク化ができています。
6 地域での連携団体・企 業 ※活動を行う際に情報収 集や意見交換等で連携す る団体等があれば記入し てください。	能登町地域振興課、能登町観光協会、能登町定住促進協議会、能登ガーデ ン ツーリズム推進協議会、能登ベリー推進協議会、県立能登高校などがありま す。

Ⅲ 連携して取り組みたい大学のゼミ等について ※希望があれば記入してください。

1 連携して取り組みたい 大学・ゼミ教員名	石川工業高等専門学校 建築学科豊島祐樹（助教）先生
2 連携を希望するゼミ等 と事前に申請内容を相談 していますか。 ※どちらかに○をつけてく ださい。	(○) ①ゼミ等と事前に申請内容を相談している。 () ②ゼミ等と事前相談していない。

令和4年度地域課題研究ゼミナール支援事業 「地域からの要望」

※要望書は課題ごとに作成してください。

I 申請団体及び連絡担当者

市町名	中能登町	団体名	中能登町役場
連絡担当者 ※活動の窓口となる担当者を記入してください。	所 属：企画課 役職・氏名：主査 駒井秀士 電話番号：0767-74-2806 FAX：0767-74-1300 メールアドレス：kikaku@中能登町.nakanoto.ishikawa.jp		

II 要望内容

1 地域が有する課題 (困っていること) ※地域の現況を記載してください。 ※イメージ図や写真があれば貼付してください。	概要 (1行程度)	少子高齢化・地域経済の疲弊・観光客の減少
	内容	近年の少子高齢化やコロナ過により、地域経済の疲弊や子供会などの活動ができない日々が続いている。 マイクロツーリズムが求められている近年において、地元の観光地を楽しみたくても、観光ガイドの人材が不足している。 それらの課題の解決方法として、地域通貨を管理する「通貨」アプリケーションと町内観光の創出・補助をする「観光」アプリケーションを事業化する。 「通貨」では地域通貨を受け取る、消費する、思い出として記録（コレクション）することができる。 「観光」では観光コースの紹介や観光施設での活用、観光をお得にする特典を提供する。
2 課題解決に向けて地域ができること		・実証実験のフィールド及び人材の提供及び確保 ・実証イベントの開催支援（イベント補助金など） ・実証イベントのモニター人材の確保
3 課題解決に向けて大学に期待する活動 ※どちらかに○をつけ、右枠に大学に期待する活動内容を記入してください。	()	①地域課題の調査・分析、地域活性化策の提案 (地域課題発掘枠)
	(○)	②地域課題の解決において実践的な活動 (地域共創支援枠) 【調査・分析】 地域通貨の流通源・消費先の確保するため、町民に支持されるアプリケーションを構築し、中能登町内のイベントでリサーチを行う。 また、観光設備、専門家の協力を得ながら町役場や観光地と相談し、石川高専 佐々木 香織准教授や歴史に詳しい住民に依頼してヒアリングを行う。 【事業の柱】 ・地域通貨、観光の2つのアプリケーションによる地域活性化

		を目指す ・地域通貨による町内の生産/消費の拡大を促進する ・久しぶりに訪れた、身体が不自由など、どんな人でも楽しめる観光を創造する ・地域通貨を町内観光の報酬とし、住民の健康を推進する 【プロモーション】 アプリ名の募集や「観光」に投稿された写真コンテストの報酬、地域貢献と引き換えに、地域通貨を提供する事でアプリケーションの認知度向上し、地域通貨の価値と利用者層を拡大する。
--	--	--

※「3 課題活動に向けて大学に期待する活動」とは、大学の専門性（観光、まちづくり、農業、デジタル技術 等）や、学生の若い感性を活かした活動を指します。

4 課題解決に向けたこれまでの取組み・成果及び令和4年度の成果目標 ※これまでに取組みを実施していない場合は、令和4年度の成果目標のみ記載してください。	【取組み】 ・AR 素材活用のための映像制作 ・令和3年3/18 高齢者向け「癒し AI おしゃべる」スピーカーの実証事業 中能登町老人福祉センターゆうゆうに通う高齢者に実証及びヒアリング 【成果目標】 ・観光アプリ制作 1 アプリ・地域通貨実証イベントの開催 2 イベント（道の駅、どぶろく、バリアフリー）
5 大学のゼミ等の活動に対する地域からの支援 ※ゼミ等の活動に対し、地域で支援できる事項があれば可能な限り具体的に記入してください。	・実証イベント開催の補助金支援 ・フィールドリサーチ（中能登町内）の移動手段の確保（公用車） ・行政サービス庁舎、旧丹後邸、古民家みおやの里など活動拠点利用に係る使用料減免 ・調査対象の地域住民との仲介及び交流拠点の確保・町広報及びケーブルテレビなどでの情報発信の確保
6 地域での連携団体・企業 ※活動を行う際に情報収集や意見交換等で連携する団体等があれば記入してください。	・中能登町観光協会 ・（一社）中能登スローツーリズム協議会 ・町内飲食店、中能登町商業開発 ・道の駅織姫の里なかのと（JA 能登わかば） ・能登上布振興協議会

Ⅲ 連携して取り組みたい大学のゼミ等について ※希望があれば記入してください。

1 連携して取り組みたい大学・ゼミ教員名	石川高等専門学校 電子情報工学科 越野 亮 先生
2 連携を希望するゼミ等と事前に申請内容を相談していますか。 ※どちらかに○をつけてください。	(○) ①ゼミ等と事前に申請内容を相談している。 () ②ゼミ等と事前相談していない。

令和4年度地域課題研究ゼミナール支援事業 「地域からの要望」

※要望書は課題ごとに作成してください。

I 申請団体及び連絡担当者

市町名	羽咋市	団体名	中能登森林組合
連絡担当者 ※活動の窓口となる担当者 を記入してください。	所 属：総務課 役職・氏名：総務課長 谷口敏晴 電話番号：0767-22-8891 FAX：0767-22-8912 メールアドレス：t.taniguchi@nakanoto-shinrin.or.jp		

II 要望内容

1 地域が有する課題 (困っていること) ※地域の現況を記載してください。 ※イメージ図や写真があれば貼付してください。	概要 (1行程度)	労働災害防止に向けた遠隔式立木伐採装置の開発
	内容	林業における労働災害は他の産業に比べて高く、特に、チェーンソーによる伐採作業の際に危険性が高いことがわかっている。 そのため、労働安全衛生規則等に基づく特別講習などを実施しているが、依然として事故が無くならず、重傷や死亡に至るものも少なくない。
2 課題解決に向けて地域ができること		近年、ICT技術の進展やバッテリー性能の向上、人材不足等を背景に、大型機械でも無線等を活用した無人運転が実現してきている。 そこで、チェーンソーによる伐倒を無線による無人操作で安全に実施できるようにしていただきたい。
3 課題解決に向けて大学に期待する活動 ※どちらかに○をつけ、右枠に大学に期待する活動内容を記入してください。	()	① 地域課題の調査・分析、地域活性化策の提案 (地域課題発掘枠)
	(○)	②地域課題の解決において実践的な活動 (地域共創支援枠) ロボットコンテストに活用した技術等を用いて、エンジン又は電動チェーンソーを遠隔操作し、安全に立木や倒木を伐採する機器を開発していただきたい。

※「3 課題活動に向けて大学に期待する活動」とは、大学の専門性（観光、まちづくり、農業、デジタル技術 等）や、学生の若い感性を活かした活動を指します。

4 課題解決に向けたこれまでの取組み・成果及び令和4年度の成果目標 ※これまでに取組みを実施していない場合は、令和4年度の成果目標のみ記載してください。	令和4年度の成果目標：伐採装置の試作・試行
5 大学のゼミ等の活動に対する地域からの支援 ※ゼミ等の活動に対し、地域で支援できる事項があれば可能な限り具体的に記入してください。	・チェンソーの構造や基本的な取り扱い、伐採に必要な要素や技術等の支援、指導。 ・チェンソーの貸し出し。 ・実演フィールドや伐採木等の準備、提供。
6 地域での連携団体・企業 ※活動を行う際に情報収集や意見交換等で連携する団体等があれば記入してください。	林業・木材製造業労働災害防止協会石川県支部 石川県中能登農林総合事務所

Ⅲ 連携して取り組みたい大学のゼミ等について ※希望があれば記入してください。

1 連携して取り組みたい大学・ゼミ教員名	石川工業高等専門学校 金沢工業大学
2 連携を希望するゼミ等と事前に申請内容を相談していますか。 ※どちらかに○をつけてください。	() ①ゼミ等と事前に申請内容を相談している。 (○) ②ゼミ等と事前相談していない。

令和4年度地域課題研究ゼミナール支援事業 「地域からの要望」

※要望書は課題ごとに作成してください。

I 申請団体及び連絡担当者

市町名	七尾市	団体名	一般社団法人きたまえ JAPAN
連絡担当者 ※活動の窓口となる担当者を記入してください。	所 属：代表 役職・氏名：理事長・政浦義輝 電話番号：0767-53-3800 FAX：0767-53-3556 メールアドレス：masaura@daiichiprint.co.jp		

II 要望内容

1 地域が有する課題 (困っていること) ※地域の現況を記載してください。 ※イメージ図や写真があれば貼付してください。	概要 (1行程度)	七尾市の人口減少と能登地域の衰退
	内容	七尾市は 2021 年 9 月には想定を超えた人口減少により人口 5 万人を切ることになるなか、昨年 11 月には世界農業遺産 10 周年を迎えた「のと里山里海」を活用し、世界に開かれた連携によって、その課題解決を図りたいと考えている。
2 課題解決に向けて地域ができること	能登地方には大学がない中、今回金沢大学と連携して、セカンドカレッジを創設、地域が中心となって、松島ゼミと連携し、コミュニティ暗号貨幣 SATO を活用した「のと里山里海 DX コモンズ」の実現を目指す。	
3 課題解決に向けて大学に期待する活動 ※どちらかに○をつけ、右枠に大学に期待する活動内容を記入してください。	()	①地域課題の調査・分析、地域活性化策の提案 (地域課題発掘枠)
	(○)	②地域課題の解決において実践的な活動 (地域共創支援枠) 昨年の地域課題発掘枠の成果を受け、参加学生による、 1) コミュニティ暗号貨幣の実装に向けた制度提案 2) 同制度に基づく個別プロジェクトの一部としての学生の実践活動支援 3) コミュニティ暗号貨幣によるグローバルな連携（オンライン等を駆使した国際会議等） を実現する。

※「3 課題活動に向けて大学に期待する活動」とは、大学の専門性（観光、まちづくり、農業、デジタル技術 等）や、学生の若い感性を活かした活動を指します。

4 課題解決に向けたこれまでの取組み・成果及び令和 4 年度の成果目標 ※これまでに取組みを実施していない場合は、令和 4 年度の成果目標のみ記載してください。	地域課題発掘枠を活用し、世界で初めて、第 4 世代のコミュニティ暗号貨幣 SATO の実証実験に成功、北陸朝日放送ではその活動の特集を組んでもらい、その他テレビ金沢や各種新聞でも取り上げられた。 その成果をもとに、七尾商工会議所と連携して具体的な仕組みづくりを行い、一般社団法人きたまえジャパンの創設に至った。 また、参加学生により、SATO の社会実装を行うためのソーシャルビジネス「美レッジ事業」（ボランティア活動の可視化）が開始され、当該学生の一部による起業も準備中である。
5 大学のゼミ等の活動に対する地域からの支援 ※ゼミ等の活動に対し、地域で支援できる事項があれば可能な限り具体的に記入してください。	昨年 2 月には七尾商工会議所と金沢大学松島ゼミと DX 協定を締結し、そのうえで同商工会議所からの全面的な支援によって、昨年 11 月に世界で初めての第 4 世代のコミュニティ暗号貨幣 SATO の実証実験を七尾市の中心市街地で実施した。
6 地域での連携団体・企業 ※活動を行う際に情報収集や意見交換等で連携する団体等があれば記入してください。	七尾市、七尾商工会議所

Ⅲ 連携して取り組みたい大学のゼミ等について ※希望があれば記入してください。

1 連携して取り組みたい大学・ゼミ教員名	金沢大学融合研究域 松島大輔
2 連携を希望するゼミ等と事前に申請内容を相談していますか。 ※どちらかに○をつけてください。	(○) ①ゼミ等と事前に申請内容を相談している。 () ②ゼミ等と事前相談していない。

令和4年度地域課題研究ゼミナール支援事業 「地域からの要望」

※要望書は課題ごとに作成してください。

I 申請団体及び連絡担当者

市町名	七尾市	団体名	中島地域づくり協議会
連絡担当者 ※活動の窓口となる担当者を記入してください。	所 属：農泊推進部会 役職・氏名：委員・白畑直樹 電話番号：tel 0767-66-2341 FAX：0767-66-2066 メールアドレス：nao.tono@gmail.com		

II 要望内容

1 地域が有する課題 (困っていること) ※地域の現況を記載してください。 ※イメージ図や写真があれば貼付してください。	概要 (1行程度)	子供の遊び場が無い！
	内容	公園の遊具が老朽化により、更新ではなく行政によって撤去されている。「子供が増えたら設置する」と言っているが、これでは子育て世代の流出が増え、移住促進をしても流入にブレーキを掛けている。公園や空き地、空き家や廃校の体育館などを活用して子供の遊び場を作りたい。
2 課題解決に向けて地域ができること	宿泊所の提供、地域おこし協力隊による支援（情報提供や地域住民や行政とのパイプ役など七尾市の協力隊の中でも積極的に活動を行っている隊員です）	
3 課題解決に向けて大学に期待する活動 ※どちらかに○をつけ、右枠に大学に期待する活動内容を記入してください。	()	①地域課題の調査・分析、地域活性化策の提案（地域課題発掘枠）
	(○)	②地域課題の解決において実践的な活動（地域共創支援枠） 同じ七尾市内の能登島にて、子供達が資金集めから遊具の調達までを行い公園を再生させた事例がある。学生さんと地域でタッグを組み、ぜひ子供達の遊び場を復興したい。

※「3 課題活動に向けて大学に期待する活動」とは、大学の専門性（観光、まちづくり、農業、デジタル技術 等）や、学生の若い感性を活かした活動を指します。

4 課題解決に向けたこれまでの取組み・成果及び令和4年度の成果目標 ※これまでに取組みを実施していない場合は、令和4年度の成果目標のみ記載してください。	公園の再生まで行かずとも、企画立案までは行いたい。出来れば、次年度へ引き継げる様な提案まで辿り着きたい。
5 大学のゼミ等の活動に対する地域からの支援 ※ゼミ等の活動に対し、地域で支援できる事項があれば可能な限り具体的に記入してください。	滞在中の宿泊施設の提供と地域おこし協力隊による支援が可能。七尾市の協力隊の中でも多岐に亘り精力的に活動している協力隊で、行政や地域内や他地域（能登全域）にも広い人脈がある為、何かと心強いフォローが出来る。また、今までも複数の補助金やファンド等に採択されたり、自身でもクラウドファンディングにて資金調達を行いソーシャル複合施設 WAKUBATAYA の開業を行っている。
6 地域での連携団体・企業 ※活動を行う際に情報収集や意見交換等で連携する団体等があれば記入してください。	中島地域づくり協議会、鹿北商工会など

Ⅲ 連携して取り組みたい大学のゼミ等について ※希望があれば記入してください。

1 連携して取り組みたい大学・ゼミ教員名	・金沢大学 融合研究域 融合科学系 川澄 厚志氏 ・金沢工業大学 建築学部 情報フロンティア学部 ・金沢美術工芸大学 美術工芸学部デザイン科
2 連携を希望するゼミ等と事前に申請内容を相談していますか。 ※どちらかに○をつけてください。	() ①ゼミ等と事前に申請内容を相談している。 (○) ②ゼミ等と事前相談していない。

令和4年度地域課題研究ゼミナール支援事業 「地域からの要望」

※要望書は課題ごとに作成してください。

I 申請団体及び連絡担当者

市町名	津幡町	団体名	津幡町刈安公民館
連絡担当者	所 属：津幡町刈安公民館 役職・氏名：館長 酒井 菊次 ※活動の窓口となる担当 者を記入してください。		
	電話番号：076-288-1801 FAX：076-288-1810 メールアドレス：kariyasu-ph@m2.spacelan.ne.jp		

II 要望内容

1 地域が有する課題 (困っていること) ※地域の現況を記載してください。 ※イメージ図や写真があれば貼付してください。	概要 (1行程度)	歴史国道「俱利伽羅峠」の観光拠点化のための古民家整備
	内容	【背景：歴史資源の未利用】俱利伽羅（津幡町）は平安時代末期には俱利伽羅峠の戦い、戦国時代には上杉謙信と佐々成政や前田利家との戦いも繰り広げられました。その戦国時代の戦いの城跡の1つとして龍ヶ峰城跡（旧北陸道山沿い山森集落内）があります。一方、越中、加賀、能登の交通の要衝としても知られ、加賀藩の参勤交代をはじめ古くから人の往来が多く、馬洗い場等が整備されてきました。 計画の対象となっている山森地区は、旧北陸道沿い（歴史国道「俱利伽羅峠」平成7年指定）の集落として発展してきましたが、現在は廃村の危機にあります。 【課題1：観光拠点として本多邸の再整備】古くは数十軒あった山森集落も、現在は住民登録されている家は1軒（住民2名、高齢化率100%）となりました。このまま推移すると消滅する可能性もあり、早急な対応が必要とされます。 地域住民は廃村となる前に、山森の本多邸を活用した歴史資源を伝える観光拠点として再整備・利用の方法を模索しています。 【課題2：サニタリー設備の必要性】本格的に観光拠点として活用する際、衛生設備は必須です。水道施設が脆弱な本多邸ではサニタリー設備の不足がボトルネックとなっているため、ハイキング客などに対して十分なサービスが提供できない状況が続いています。
2 課題解決に向けて 地域ができること	・地域住民と石川高専学生との意見交換の場である「俱利伽羅を愛する会」の運用。会議周知にかかわる住民への告示等の支援 ・津幡町との企画調整など渉外活動（各種イベントの調整） ・IR いしかわ鉄道との連携	
3 課題解決に向けて 大学に期待する活動 ※どちらかに○をつけ、右 枠に大学に期待する活動 内容を記入してください。	()	①地域課題の調査・分析、地域活性化策の提案 (地域課題発掘枠)
	(○)	②地域課題の解決において実践的な活動 (地域共創支援枠) ・観光拠点として本多邸の整備（サニタリー設備の整備） ・観光拠点として情報発信のコンテンツ作り ・情報発信の支援

※「3 課題活動に向けて大学に期待する活動」とは、大学の専門性（観光、まちづくり、農業、デジタル技術 等）や、学生の若い感性を活かした活動を指します。

4 課題解決に向けたこれまでの取組み・成果及び令和4年度の成果目標 ※これまでに取組みを実施していない場合は、令和4年度の成果目標のみ記載してください。	平成30年度は、住民との話し合いで山森地区にある本多邸を活用した観光拠点の整備を進めることが決定されました。 令和元年度では、本多邸の縁側部分が年中雪囲いで閉鎖的になっているため、冬季以外の中間期は庇付きベンチとして活用できる「雪囲いベンチ」を制作しました。このベンチは、「俱利伽羅 さつきウォーク」などのイベントでは休憩場所として活用されました。 令和2年度はコロナ禍で学生の活動が限定されていましたが、web会議の導入などを図ることで、雪囲いベンチの利活用を促進させる「カマドテーブル」構想を実現させることに決定しました。熊澤ゼミでの検討を踏まえ、「カマド・オンドル」に一部企画変更されて基本設計が行われました。 令和3年度は、令和2年で企画した「カマド・オンドル」の整備を行いました。令和4年3月下旬に竣工を迎えます。 令和4年度は、本多邸を本格活用するためにもサニタリー設備を充実させて、観光拠点として活用することを目標としています。
5 大学のゼミ等の活動に対する地域からの支援 ※ゼミ等の活動に対し、地域で支援できる事項があれば可能な限り具体的に記入してください。	・地域住民との意見交換の仲介や集まる場の設定（web会議も含む） ・「俱利伽羅を愛する会」と更なる連携と意見交換 ・学生参加の地域住民との利活用に係るイベント（俱利伽羅 さつきウォーク等）の実施 ・観光拠点化に向けた空き家（本多邸）の「かまど」等の更なる改修整備 ・石川高専学生による広く俱利伽羅の歴史を知る学習施設としての活用の促進 ・地域内外の交流拡大のために空き家（本多邸）利用による歴史遺産紹介に係るコンテンツの充実
6 地域での連携団体 ※活動を行う際に情報収集や意見交換等で連携する団体等があれば記入してください。	「俱利伽羅を愛する会」が中心となりますが、必要に応じて津幡町役場、刈安公民館、くらし安心ネットワーク、長寿会等と連携していきます。

Ⅲ 連携して取り組みたい大学のゼミ等について ※希望があれば記入してください。

1 連携して取り組みたい大学・ゼミ教員名	石川工業高等専門学校 熊澤ゼミナール
2 連携を希望するゼミ等と事前に申請内容を相談していますか。 ※どちらかに○をつけてください。	(○) ①ゼミ等と事前に申請内容を相談している。 () ②ゼミ等と事前相談していない。

令和4年度地域課題研究ゼミナール支援事業 「地域からの要望」

※要望書は課題ごとに作成してください。

I 申請団体及び連絡担当者

市町名	内灘町	団体名	教育委員会
連絡担当者 ※活動の窓口となる担当者を記入してください。	所 属：教育部文化スポーツ課 役職・氏名：主事 竹野 史仁 電話番号：076-286-6716 FAX：076-286-6714 メールアドレス：bunspo@内灘町.uchinada.lg.jp		

II 要望内容

1 地域が有する課題 (困っていること) ※地域の現況を記載してください。 ※イメージ図や写真があれば貼付してください。	概要 (1行程度)	内灘町の観光資源の発掘・活用及び発信について
	内容	北陸新幹線の金沢開業以降、石川県内では金沢市を中心に観光客数が増加しています。 しかし、内灘町では北陸新幹線による観光客数の増加を十分に享受できていないのが現状です。 また、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に伴い、観光業全体が非常に厳しい状況に置かれている中、人々の観光スタイルにも大きく変化しています。 内灘町には日本海、内灘砂丘、河北潟といった町が誇る自然環境のほか、内灘闘争や栗ヶ崎遊園などの特異な文化・歴史を有していますが、これらの観光資源をより効果的に発信する必要があります。 また、町を代表するグルメ、土産品や特産品について、十分にあるとは言えない状況であり、新たな開発、掘り起しが求められています。 WITH コロナ、AFTER コロナの視点も踏まえた新たな観光ニーズに対応し、町の魅力を向上させることで、本町を訪れる観光客や、金沢観光からの立ち寄り客を増やし「交流人口の拡大」「地域経済の活性化」を実現するため、様々な事業を展開していますが、より実効性のある取り組みを行うべく、大学のゼミ等にご協力いただきたいと思います。
2 課題解決に向けて地域ができること	観光拠点の整備、観光情報の発信、イベントの開催及び開催支援、特産品の開発及び開発支援、観光メニューの企画開発など	

3 課題解決に向けて大学に期待する活動 ※どちらかに○をつけ、右枠に大学に期待する活動内容を記入してください。	()	①地域課題の調査・分析、地域活性化策の提案 (地域課題発掘枠)
	(○)	②地域課題の解決において実践的な活動 (地域共創支援枠) ○ デジタル技術を駆使したコンテンツの制作 ○ 視覚的に優れた先進的なデザインによる情報の発信 ○ 時流に乗ったイベントの考案

※「3 課題活動に向けて大学に期待する活動」とは、大学の専門性（観光、まちづくり、農業、デジタル技術 等）や、学生の若い感性を活かした活動を指します。

4 課題解決に向けたこれまでの取組み・成果及び令和4年度の成果目標 ※これまでに取組みを実施していない場合は、令和4年度の成果目標のみ記載してください。	新たなコンテンツ、グッズ等の制作及びイベントの開催、効果的な情報発信等による観光客の誘致
5 大学のゼミ等の活動に対する地域からの支援 ※ゼミ等の活動に対し、地域で支援できる事項があれば可能な限り具体的に記入してください。	○ 内灘町の観光案内 ○ 販促物、特産品の提供 ○ イベント開催時の場所を無償提供 ○ ゼミ等により考案されたイベント実施に係る経費の一部負担 ○ ゼミ等により考案されたデザインを利用した印刷物等に係る経費の一部負担
6 地域での連携団体・企業 ※活動を行う際に情報収集や意見交換等で連携する団体等があれば記入してください。	○ 内灘町観光協会 ○ 内灘町観光ボランティアガイド「風案内はまなすさん」 ○ 内灘町地域おこし協力隊 ○ 内灘町商工会 ○ その他

Ⅲ 連携して取り組みたい大学のゼミ等について ※希望があれば記入してください。

1 連携して取り組みたい大学・ゼミ教員名	金沢学院大学 芸術学部 吉田一誠ゼミナール
2 連携を希望するゼミ等と事前に申請内容を相談していますか。 ※どちらかに○をつけてください。	(○) ①ゼミ等と事前に申請内容を相談している。 () ②ゼミ等と事前相談していない。

令和4年度地域課題研究ゼミナール支援事業 「地域からの要望」

※要望書は課題ごとに作成してください。

I 申請団体及び連絡担当者

市町名	金沢市	団体名	金沢市菊川町公民館
連絡担当者	所 属：公民館 役職・氏名：主事 原 恵子 ※活動の窓口となる担当者を記入してください。 電話番号：076-261-1769 FAX：076-256-1729 メールアドレス：keikopin.hara@gmail.com		

II 要望内容

1 地域が有する課題 (困っていること) ※地域の現況を記載してください。 ※イメージ図や写真があれば貼付してください。	概要 (1行程度)	安心して過ごせる地域の実現とSDG'sの取り組み
	内容	菊川町・新塀町エリアは、小学校の統合に伴う地域コミュニティのすり合わせの問題や住民の体感治安の低下に加えて、高齢化の進行、空き家の増加、防災意識の低さ等様々な問題が複合的に発生している。 従来の公民館の活動はルーチン化しており、複合的な地域課題の関連性を解きほぐしながら解決するというサイクルが生まれにくい。 これまで3年間にわたり、北陸大学の学生とともに地域安全マップづくりを実施してきたが、防災問題、空き家問題、環境問題等の他分野との関連性を意識し、SDG'sの視点からの活動にのあり方について、大学側の専門的な知見を受けつつ、大学生と協働した活動を実施したい。
2 課題解決に向けて地域ができること	・地域住民、各種地域団体との調整 ・地域住民への啓発及び、活動に係る住民の裾野を拡げること	
3 課題解決に向けて大学に期待する活動 ※どちらかに○をつけ、右枠に大学に期待する活動内容を記入してください。	()	①地域課題の調査・分析、地域活性化策の提案 (地域課題発掘枠)
	(○)	②地域課題の解決において実践的な活動 (地域共創支援枠) ・フィールドワークや調査等に基づいた解決策の提案 ・学生の新たな視点に立つ創意工夫あふれる解決策の実践 ・地域住民と交流しながら、協働で解決策に取り組むこと

※「3 課題活動に向けて大学に期待する活動」とは、大学の専門性（観光、まちづくり、農業、デジタル技術 等）や、学生の若い感性を活かした活動を指します。

4 課題解決に向けたこれまでの取り組み・成果及び令和4年度の成果目標 ※これまでに取り組みを実施していない場合は、令和4年度の成果目標のみ記載してください。	これまで地域住民の体感治安の向上を目的として、地域安全マップ作成を行ってきた。 また、地域防犯の観点から、学生が地域でのフィールドワークを通じて、様々な課題を発見し、解決策を提案するプロジェクトを進めてきた。 地域側から見て、地域安全マップ作成には大きな成果があったと評価している。 また学生が提案する miro の活用や YouTube で視覚に訴えるなどのまとめ方に得難い体験ができた。 令和4年度は、取組分野を SDGs の領域に広げるとともに、協働による実践に取り組んでいきたい。 具体的には、これまで学んだ「地域力」を地域住民に発信して、生活の中に取り入れ、子どもも大人も安心して生活ができる地域とし、「交通事故防止」や「防災力」、さらには「持続可能なまちづくり力」を育む方向に発展させていきたい。
5 大学のゼミ等の活動に対する地域からの支援 ※ゼミ等の活動に対し、地域で支援できる事項があれば可能な限り具体的に記入してください。	・公民館で実施するプログラムと学生の活動の間のコーディネート ・当事業の検討のための打ち合わせ場所を公民館内に確保。 ・公民館での Wi-Fi 使用。
6 地域での連携団体・企業 ※活動を行う際に情報収集や意見交換等で連携する団体等があれば記入してください。	・犀桜小学校 PTA ・菊川地区町会連合会 ・菊川防犯委員会 ・菊川自主防災会 ・菊川少年連盟 ・金沢中警察署 ・子ども見守りボランティア など

Ⅲ 連携して取り組みたい大学のゼミ等について ※希望があれば記入してください。

1 連携して取り組みたい大学・ゼミ教員名	北陸大学 経済経営学部 山本啓一ゼミ
2 連携を希望するゼミ等と事前に申請内容を相談していますか。 ※どちらかに○をつけてください。	(○) ①ゼミ等と事前に申請内容を相談している。 () ②ゼミ等と事前相談していない。

令和4年度地域課題研究ゼミナール支援事業 「地域からの要望」

※要望書は課題ごとに作成してください。

I 申請団体及び連絡担当者

市町名	金沢市	団体名	金沢市
連絡担当者 ※活動の窓口となる担当者を記入してください。	所 属：障害福祉課 役職・氏名：企画庶務係長 鴻野 真紀子 電話番号：076-220-2289 FAX：076-232-0294 メールアドレス：kouno@city.kanazawa.lg.jp		

II 要望内容

1 地域が有する課題 (困っていること) ※地域の現況を記載してください。 ※イメージ図や写真があれば貼付してください。	概要 (1行程度)	公共施設等のユニバーサルデザイン情報の見える化
	内容	本市では、金沢市障害者計画であるノーマライゼーションプラン2021（計画期間：令和3年度～8年度）を策定している。その一つの施策として「建築物等のユニバーサルデザイン化」を設定し、民間の協力を得ながら、誰もが快適で生活しやすいユニバーサルデザインに配慮した施設づくりを目指すとともに、道路や建築物以外の都市を構成するさまざまな施設や設備、什器等の整備に取り組むこととしている。 この推進のため、不特定多数の市民が訪れる市有施設に加え、民間の公共的な施設のユニバーサルデザイン状況の見える化を図りたい。
2 課題解決に向けて地域ができること	・各施設への協力依頼・調整・障害のある人等への協力依頼	
3 課題解決に向けて大学に期待する活動 ※どちらかに○をつけ、右枠に大学に期待する活動内容を記入してください。	()	①地域課題の調査・分析、地域活性化策の提案 (地域課題発掘枠)
	(○)	②地域課題の解決において実践的な活動 (地域共創支援枠) 不特定多数の市民が訪れる市有施設に加え、民間の公共的な施設のユニバーサルデザインの状況を調査する。 調査結果は本市のホームページに掲載する予定。 高等教育機関の学生に加え、障害のある人にも参加いただき、学生の意識向上にも寄与したい。

※「3 課題活動に向けて大学に期待する活動」とは、大学の専門性（観光、まちづくり、農業、デジタル技術 等）や、学生の若い感性を活かした活動を指します。

4 課題解決に向けたこれまでの取組み・成果及び令和4年度の成果目標 ※これまでに取組みを実施していない場合は、令和4年度の成果目標のみ記載してください。	・過去に各施設を統一した基準で調査したことはない。 ・令和4年度は、統一した基準を作り、市の施設50程度の調査（照会回答含む）を目標とし、次年度以降も継続実施したい。
5 大学のゼミ等の活動に対する地域からの支援 ※ゼミ等の活動に対し、地域で支援できる事項があれば可能な限り具体的に記入してください。	とくになし
6 地域での連携団体・企業 ※活動を行う際に情報収集や意見交換等で連携する団体等があれば記入してください。	・金沢市障害者施策推進協議会 ・金沢市障害者差別解消支援地域協議会

Ⅲ 連携して取り組みたい大学のゼミ等について ※希望があれば記入してください。

1 連携して取り組みたい大学・ゼミ教員名	金沢大学人間社会研究域経済学経営学系 教授 森山 治
2 連携を希望するゼミ等と事前に申請内容を相談していますか。 ※どちらかに○をつけてください。	(○) ①ゼミ等と事前に申請内容を相談している。 () ②ゼミ等と事前相談していない。

令和4年度地域課題研究ゼミナール支援事業 「地域からの要望」

※要望書は課題ごとに作成してください。

I 申請団体及び連絡担当者

市町名	金沢市	団体名	特定非営利活動法人 石川県茅葺き文化研究会
連絡担当者 ※活動の窓口となる担当者を記入してください。	所 属：同上法人役員 役職・氏名：理事長 坂本善昭 電話番号：TEL 090-8967-8022 FAX：076-246-3122 メールアドレス：yoshi5456@gmail.com		

II 要望内容

1 地域が有する課題 (困っていること) ※地域の現況を記載してください。 ※イメージ図や写真があれば貼付してください。	概要 (1行程度)	身近な植物を自在に生かした先人の知恵を再発見し、自然環境への関心を深める。
	内容	茅葺き屋根は、地域のススキやヨシ、笹などを採取ストックして、住居に活かすシステムが古来からの知恵。 自然と共生する視点で、本来の都市生活を再考するために、楽しく学生たちと学ぶ機会づくりを提案します。
2 課題解決に向けて地域ができること	金沢市湯涌江戸村には、歴史的施設でもある県内茅葺き農家群がある。 その一端の笹葺き屋根を補修体験。 江戸村村長や住民古老の協力を得て、わりに手軽にできる笹材の採取と補修作業を実施。 広く学生に呼び掛け体験させる。	
3 課題解決に向けて大学に期待する活動 ※どちらかに○をつけ、右枠に大学に期待する活動内容を記入してください。	()	①地域課題の調査・分析、地域活性化策の提案 (地域課題発掘枠)
	(○)	②地域課題の解決において実践的な活動 (地域共創支援枠) 身近な植物が実際に役立っている事実を、施設見学などで学習。 その補修を機に、近隣で見付けられる屋根資材(笹)の探索と採取を実施。 刈り取った笹を、実際に葺く技や縄結び体験を通して、地域と大自然のあり方を学習共有する。

※「3 課題活動に向けて大学に期待する活動」とは、大学の専門性（観光、まちづくり、農業、デジタル技術 等）や、学生の若い感性を活かした活動を指します。

4 課題解決に向けたこれまでの取組み・成果及び令和4年度の成果目標 ※これまでに取組みを実施していない場合は、令和4年度の成果目標のみ記載してください。	都市生活と自然環境が、隔絶したものだという印象を持つ若い世代に、直接触れさせる茅葺きから得た「新鮮な感動」の言葉が大きな収穫(茅葺・茅採取がユネスコ無形文化遺産登録への認識も含めて)。 令和4年度も、身近な里山で植物たちに触れ、日光と生育の原理や、人と自然の協働の仕組み、暮らしの技などを可能な限り体験の場から学べる機会としたい。
5 大学のゼミ等の活動に対する地域からの支援 ※ゼミ等の活動に対し、地域で支援できる事項があれば可能な限り具体的に記入してください。	地域に根付いてきた知恵などを、研究成果「子どもたちと学べる絵本・紙芝居」等の見える形にしたい。 そのために集落での探訪やヒアリング、茅採取体験などをワークショップの場にする計画を共有。 それへのアクセスや諸情報も広く理解の上に協力頂きたい。
6 地域での連携団体・企業 ※活動を行う際に情報収集や意見交換等で連携する団体等があれば記入してください。	可能なら金沢市湯涌江戸村との連携をはかり、ワークショップ等は市民参加等、セミ公開的なものとしてでも協力頂きたい。

Ⅲ 連携して取り組みたい大学のゼミ等について ※希望があれば記入してください。

1 連携して取り組みたい大学・ゼミ教員名	金沢星稜大学 三好ゼミ
2 連携を希望するゼミ等と事前に申請内容を相談していますか。 ※どちらかに○をつけてください。	(○) ①ゼミ等と事前に申請内容を相談している。 () ②ゼミ等と事前相談していない。

令和4年度地域課題研究ゼミナール支援事業 「地域からの要望」

※要望書は課題ごとに作成してください。

I 申請団体及び連絡担当者

市町名	金沢市	団体名	おおくわこども食堂
連絡担当者	所 属：おおくわこども食堂		
※活動の窓口となる担当者を記入してください。	役職・氏名：代表・土井裕平		
	電話番号：090-9342-7280		FAX：
	メールアドレス：ytujing@gmail.com		

II 要望内容

1 地域が有する課題 (困っていること) ※地域の現況を記載してください。 ※イメージ図や写真があれば貼付してください。	概要 (1行程度)	①母子・父子家庭の子どもの自然体験の不足②保護者のリフレッシュと繋がり不足
	内容	①こども食堂を利用している母子家庭の保護者から「休日に自然体験や文化的体験ができない」「母子だけではやろうと思えない」「すでにある体験教室は料金が高く参加できない」との声があがっている。 ②コロナ禍により親子で家庭にいたることが増えたことや外に出て交流がすることが減ったことで、保護者の精神的な負担の増加を感じる。
2 課題解決に向けて地域ができること	こども食堂を利用している母子父子家庭世帯への呼びかけ	
3 課題解決に向けて大学に期待する活動 ※どちらかに○をつけ、右枠に大学に期待する活動内容を記入してください。	()	①地域課題の調査・分析、地域活性化策の提案 (地域課題発掘枠)
	(○)	②地域課題の解決において実践的な活動 (地域共創支援枠) ①自然体験や文化的体験の実施 ②保護者がリフレッシュできるような取り組み

※「3 課題活動に向けて大学に期待する活動」とは、大学の専門性（観光、まちづくり、農業、デジタル技術 等）や、学生の若い感性を活かした活動を指します。

4 課題解決に向けた これまでの取組み・成果 及び令和 4 年度の成果 目標 ※これまでに取組みを実施していない場合は、令和 4 年度の成果目標のみ記載してください。	令和 3 年度：金沢学院大学広根ゼミと協同し、母子父子家庭を対象としたアートワークショップ行っており、秋は「親子」で羊と触れ合い、食し、工作を体験。冬は「子と親」で分かれ、それぞれアートワークショップ実施し、子はリース作りを体験、親は工作と保護者同士の交流を図った。2 回の開催で、計 15 世帯の参加であった。 その他、おおくわこども食堂単体の活動として収穫体験や川遊び、キャンプ、BBQ、体を動かすイベントなど行っている。 令和 4 年度の目標は、金沢学院大学広根ゼミと協同し、夏・秋・冬にそれぞれ「子ども」「親子」「子と親」に分けてアートワークショップを実施していく。 その中で、保護者がリフレッシュし、「ひとりではない」「繋がっている」と体感できるような機会も同時に創出していく。
5 大学のゼミ等の活動 に対する地域からの支 援 ※ゼミ等の活動に対し、地域で支援できる事項があれば可能な限り具体的に記入してください。	食事提供
6 地域での連携団体・企業 ※活動を行う際に情報収集や意見交換等で連携する団体等があれば記入してください。	NP0 法人ささえる絆ネットワーク北陸 (こども食堂部門：かなざわっ子 nikoniko 倶楽部)

Ⅲ 連携して取り組みたい大学のゼミ等について ※希望があれば記入してください。

1 連携して取り組みたい 大学・ゼミ教員名	金沢学院大学 広根ゼミ
2 連携を希望するゼミ等 と事前に申請内容を相談 していますか。 ※どちらかに○をつけてください。	(○) ①ゼミ等と事前に申請内容を相談している。 () ②ゼミ等と事前相談していない。

令和4年度地域課題研究ゼミナール支援事業 「地域からの要望」

※要望書は課題ごとに作成してください。

I 申請団体及び連絡担当者

市町名	金沢市	団体名	金沢・LRT と暮らしを考える会
連絡担当者	所 属：金沢・LRT と暮らしを考える会		
※活動の窓口となる担当者を記入してください。	役職・氏名：会長・毛利千香志		
	電話番号：076-225-7907		FAX：076-225-7907
	メールアドレス：mouri@moon.biglobe.ne.jp		

II 要望内容

1 地域が有する課題 (困っていること) ※地域の現況を記載してください。 ※イメージ図や写真があれば貼付してください。	概要 (1行程度)	金沢ふらっとバスの利用促進
	内容	2021 年4月から金沢ふらっとバスは減便され、15 分間隔から20 分間隔の運行になった。 2010 年度に80 万人だった乗客数は2020 年度は73 万人だった。さらにコロナ禍で公共交通自体の利用が減少し、コロナ収束後も厳しい状況が予測される。 そうしたなか、利用者の減少傾向に歯止めをかけ、地域の足を守ることが課題になっている。
2 課題解決に向けて 地域ができること	利用の促進、需要の顕在化、実際に利用すること。	
3 課題解決に向けて 大学に期待する活動 ※どちらかに○をつけ、右 枠に大学に期待する活動 内容を記入してください。	()	①地域課題の調査・分析、地域活性化策の提案 (地域課題発掘枠)
	(○)	②地域課題の解決において実践的な活動 (地域共創支援枠) 地域住民とのコミュニケーションを中心とする MM (モビリティ・マネジメント) の手法を活用した利用促進の取り組みアンケートの作成、調査、分析特に MM 実施にあたって、学生ならではの感覚で Web や SNS を活用

※「3 課題活動に向けて大学に期待する活動」とは、大学の専門性（観光、まちづくり、農業、デジタル技術 等）や、学生の若い感性を活かした活動を指します。

4 課題解決に向けたこれまでの取組み・成果及び令和4年度の成果目標 ※これまでに取組みを実施していない場合は、令和4年度の成果目標のみ記載してください。	「金沢ふらっとバス沿線でのアンケート調査」、「主要バス停における聞き取り調査」、および「金沢ふらっとバスデジタルフォトコンテスト」「金沢ふらっとバス思い出川柳コンテスト」の両コンテストを実施した。 コロナ禍の制約もあり、アンケート調査、聞き取り調査が必ずしも十分でなかった。 令和4年度は調査対象を広げ、コミュニケーションの質を高めたい。
5 大学のゼミ等の活動に対する地域からの支援 ※ゼミ等の活動に対し、地域で支援できる事項があれば可能な限り具体的に記入してください。	リーフレット、アンケート等の作成支援コミュニケーションの場の設定支援 関係機関への仲介
6 地域での連携団体・企業 ※活動を行う際に情報収集や意見交換等で連携する団体等があれば記入してください。	金沢市北陸鉄道西日本ジェイアールバス金沢の都市と交通を考える会（K. CAT）明日の金沢の交通を考える市民会議

Ⅲ 連携して取り組みたい大学のゼミ等について ※希望があれば記入してください。

1 連携して取り組みたい大学・ゼミ教員名	金沢学院大学 奥井めぐみ教授
2 連携を希望するゼミ等と事前に申請内容を相談していますか。 ※どちらかに○をつけてください。	(○) ①ゼミ等と事前に申請内容を相談している。 () ②ゼミ等と事前相談していない。

令和4年度地域課題研究ゼミナール支援事業 「地域からの要望」

※要望書は課題ごとに作成してください。

I 申請団体及び連絡担当者

市町名	金沢市	団体名	NPO エコラボ
連絡担当者 ※活動の窓口となる担当者 を記入してください。	所 属：NPO エコラボ 役職・氏名：理事長 中村 早苗 電話番号：080-3743-1313 FAX：076-253-8112 メールアドレス：naka232@sky.plala.or.jp		

II 要望内容

1 地域が有する課題 (困っていること) ※地域の現況を記載してください。 ※イメージ図や写真があれば貼付してください。	概要 (1行程度)	地域自然環境に適したソーラークッカーの開発及び普及プログラム・交流事業の開発
	内容	ソーラークッキングのワークショップを行政や地域団体と協働で開催し、自然エネルギーへの理解、地域農産物を用いた食育を通して地産地消による環境負荷低減効果の理解を深めるなどの環境学習のほか、地域防災団体と協働で被災時の安全な水と食の確保の一手段としての防災教育も行ってきた。 しかしながら北陸の自然環境に適したクッカーの性能向上、地域特性に応じた環境学習プログラムの開発に課題がある。 汎用性のあるソーラークッカーの開発、安全で安定した利用方法マニュアル化、環境学習プログラムの作成、及びソーラークッキングを用いた交流事業の実施が課題となっており、知見のあるゼミのご協力を希望している。
2 課題解決に向けて地域ができること	・当組織が保有する大型クッカー2台と手作りクッカー4種を用いたワークショップの開発 ・手作りクッカーの製作ワークショップの実施 ・性能が向上されたクッカーの試験的運用 ・交流事業を実施したい組織の募集、コーディネート	
3 課題解決に向けて大学に期待する活動 ※どちらかに○をつけ、右枠に大学に期待する活動内容を記入してください。	()	① 地域課題の調査・分析、地域活性化策の提案 (地域課題発掘枠)
	(○)	② 地域課題の解決において実践的な活動 (地域共創支援枠) ・汎用性のあるソーラークッカーの開発 ・安全で安定した利用方法マニュアル化 ・環境学習プログラムの作成 ・ソーラークッキングを用いた交流事業の実施

※「3 課題活動に向けて大学に期待する活動」とは、大学の専門性（観光、まちづくり、農業、デジタル技術 等）や、学生の若い感性を活かした活動を指します。

4 課題解決に向けたこれまでの取組み・成果及び令和4年度の成果目標 ※これまでに取組みを実施していない場合は、令和4年度の成果目標のみ記載してください。	・令和2年度地域課題研究ゼミナール支援事業（地域共創支援枠）において、新作のソーラークッカーと調理容器を開発され特許を出願され、対応する献立も開発された。またマスコミやオンライン展示会等においてクッカーの紹介が行われた。 ・令和3年度は残念ながら採択されなかった。 ・令和4年度では、第一基の改良と、新たなクッカーの開発を目標とする。 同時に、一般での実用化に向けて、クッカーと調理器具をセットにした商品化、防災備品としての可能性も検討されるとともに、地域での交流事業を実施する。
5 大学のゼミ等の活動に対する地域からの支援 ※ゼミ等の活動に対し、地域で支援できる事項があれば可能な限り具体的に記入してください。	・市販ソーラークッカー2台、手作りクッカー4種の貸与 ・ワークショップの実施内容（ソーラークッキング、ソーラークッカー作成）等の資料の提供 ・ソーラークッキングを活用した交流事業事例の情報提供（食育、防災、国際交流、エネルギー問題） ・交流事業の共同開催
6 地域での連携団体 ※活動を行う際に情報収集や意見交換等で連携する団体等があれば記入してください。	・日本ソーラークッキング協会 ・金沢市環境政策課 ・いしかわ環境パートナーシップ県民会議 ・石川県防災士会

Ⅲ 連携して取り組みたい大学のゼミ等について ※希望があれば記入してください。

1 連携して取り組みたい大学・ゼミ教員名	調整中
2 連携を希望するゼミ等と事前に申請内容を相談していますか。 ※どちらかに○をつけてください。	() ①ゼミ等と事前に申請内容を相談している。 (○) ②ゼミ等と事前相談していない。

令和4年度地域課題研究ゼミナール支援事業 「地域からの要望」

※要望書は課題ごとに作成してください。

I 申請団体及び連絡担当者

市町名	かほく市	団体名	かほく市役所
連絡担当者	所 属：健康福祉課		
※活動の窓口となる担当者を記入してください。	役職・氏名：主査 荒井淳子		
	電話番号：076-283-1117		FAX：076-283-4116
	メールアドレス：arai-j@city.kahoku.lg.jp		

II 要望内容

1 地域が有する課題 (困っていること) ※地域の現況を記載してください。 ※イメージ図や写真があれば貼付してください。	概要 (1行程度)	壮年期の運動不足を解消する実践的アプローチについて
	内容	当市はメタボリックシンドローム該当者が多く、肥満者の割合も増加の傾向がみられます。 かほく市健康プラン21の中間報告「身体活動・運動」の項目では、歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している者の割合が策定時より大きく減少している。 これまでも産管学民が連携し、健康維持・健康増進を目的に市内ウォーキングコースを周知したり、活動量計を活用した健康ウォーキング事業を実施するなど、日頃の活動量を増やすような支援を実施してきた。 運動無関心層の方に対し少しでも自身への健康づくりに関心を持ってもらい、個々にあった運動推進をしたい。
2 課題解決に向けて 地域ができること	各課協力体制の構築地域団体の連絡調整媒体の作成広報の掲載	
3 課題解決に向けて 大学に期待する活動 ※どちらかに○をつけ、右枠に大学に期待する活動内容を記入してください。	()	①地域課題の調査・分析、地域活性化策の提案 (地域課題発掘枠)
	(○)	②地域課題の解決において実践的な活動 (地域共創支援枠) 坂道を活用したウォーキングコースの設定と周知 日頃の行動をわずかに変化させ、健康を意識した行動へ変容させる「スモールチェンジ方略」の周知

※「3 課題活動に向けて大学に期待する活動」とは、大学の専門性（観光、まちづくり、農業、デジタル技術 等）や、学生の若い感性を活かした活動を指します。

4 課題解決に向けたこれまでの取組み・成果及び令和4年度の成果目標 ※これまでに取組みを実施していない場合は、令和4年度の成果目標のみ記載してください。	ウォーキングコースに坂道を取り入れることで「リズムウォーキング」のような速度の緩急がある歩き方を無理なく行えることが推測され、運動習慣のある方へ対し新しいアプローチ策ができた。 また、あまり健康に無関心の方や運動継続が難しい方にそれとなくできる運動について「スモールチェンジ方略」を取り入れ、市役所内で先行して取り組んだ。結果約6割の方に行動変容が見られた。 令和4年度には運動習慣のある方には「坂道を活用したウォーキング」の推奨、健康無関心層の方には、「スモールチェンジ方略」の対象を市内企業・事業所に拡大し、健康づくりに取り組む市民を増やしたい。
5 大学のゼミ等の活動に対する地域からの支援 ※ゼミ等の活動に対し、地域で支援できる事項があれば可能な限り具体的に記入してください。	事業のPR場所の提供企画への参加他課への連携調整
6 地域での連携団体・企業 ※活動を行う際に情報収集や意見交換等で連携する団体等があれば記入してください。	市スポーツ推進委員会 ジョイアクロス高松市商工会

Ⅲ 連携して取り組みたい大学のゼミ等について ※希望があれば記入してください。

1 連携して取り組みたい大学・ゼミ教員名	石川県立看護大学 垣花 渉
2 連携を希望するゼミ等と事前に申請内容を相談していますか。 ※どちらかに○をつけてください。	(○) ①ゼミ等と事前に申請内容を相談している。 () ②ゼミ等と事前相談していない。

令和4年度地域課題研究ゼミナール支援事業 「地域からの要望」

※要望書は課題ごとに作成してください。

I 申請団体及び連絡担当者

市町名	野々市市	団体名	野々市市役所
連絡担当者 ※活動の窓口となる担当者を記入してください。	所 属：企画振興部地域振興課 役職・氏名：主事 多間 聖 電話番号：076-227-6118 FAX：076-227-6254 メールアドレス：chiiki@city.nonoichi.lg.jp		

II 要望内容

1 地域が有する課題 (困っていること) ※地域の現況を記載してください。 ※イメージ図や写真があれば貼付してください。	概要 (1行程度)	ICTを活用したコミュニティバス等の情報発信
	内容	市が運営するコミュニティバスや市が補助を行っているシャトルバスについて、スマートフォン等の普及により、ICTを活用した情報発信の必要性が増している。 特に、降雪をはじめとした悪天候の多い本市において、バス運行情報のリアルタイム情報発信は利用者の利便性に直結する課題である。 現在、金沢工業大学 BusStop プロジェクトが研究を行っているバスどこシステムにおいて、いわゆるバスロケーションシステムがweb上でのシステム公開にて利用者に提供されている状態となっている。 ただし、PC・スマートフォンを上手く活用できない人についてはそうした情報へのアクセスが難しく、そうした人への情報発信の仕方についてはバス停への貼り紙等、アナログな手法にて行っている現状である。 ICTを活用した情報発信について、バス利用者全体に上手く行うことができる方法について現在模索しているところである。
2 課題解決に向けて地域ができること	バス利用者に対するアンケート調査への回答	
3 課題解決に向けて大学に期待する活動 ※どちらかに○をつけ、右枠に大学に期待する活動内容を記入してください。	○	①地域課題の調査・分析、地域活性化策の提案 (地域課題発掘枠)

	(○)	②地域課題の解決において実践的な活動 (地域共創支援枠) ICT の活用を行い 1 利用者にとって有益な情報を得ることのできる媒体作成・ 充実 ※バスロケーションシステム、カメラによる認証を 用いた乗降数の把握、その他バス運行情報の発信 等 2 作成した媒体の周知 ※スマートフォンアプリの開発 等
--	-----	---

※「3 課題活動に向けて大学に期待する活動」とは、大学の専門性（観光、まちづくり、農業、デジタル技術 等）や、学生の若い感性を活かした活動を指します。

4 課題解決に向けた これまでの取組み・成果 及び令和 4 年度の成果 目標 ※これまでに取組みを 実施していない場合は、令和 4 年度の成果目標のみ記載 してください。	金沢工業大学 BusStop プロジェクトが行う研究について、市として協力・支 援を行っている。 平成 30 年度：バスどこシステム 実証実験 令和元年度：野々市市提案型協働事業を活用し、バスどこシステムの運用 ほか、バス停本体にバス近接情報表示の実験 令和 3 年度：大学コンソーシアム石川「地域課題研究ゼミナール支援事業」 にてバス車内混雑状況把握システムの実験等またバスどこシス テム(バスロケーションシステム)の Android 版制作を進めてい る 令和 4 年度：成果目標「令和 3 年度実験内容の発展・実証」
5 大学のゼミ等の活動 に対する地域からの支 援 ※ゼミ等の活動に対し、地 域で支援できる事項があ れば可能な限り具体的に 記入してください。	市が保有するコミュニティバスを実証実験の場として提供する。 また、市がコミュニティバス・シャトルバスの運行会社であるののいちバス 株式会社とのやり取りを仲介する。
6 地域での連携団体・企 業 ※活動を行う際に情報収 集や意見交換等で連携す る団体等があれば記入し てください。	ののいちバス株式会社

Ⅲ 連携して取り組みたい大学のゼミ等について ※希望があれば記入してください。

1 連携して取り組みたい 大学・ゼミ教員名	金沢工業大学 BusStop プロジェクト
2 連携を希望するゼミ等 と事前に申請内容を相談 していますか。 ※どちらかに○をつけてく ださい。	(○) ①ゼミ等と事前に申請内容を相談している。 () ②ゼミ等と事前相談していない。

令和 4 年度地域課題研究ゼミナール支援事業 「地域からの要望」

※要望書は課題ごとに作成してください。

I 申請団体及び連絡担当者

市町名	加賀市	団体名	公益財団法人あくるめ
連絡担当者	所 属：なし		
※活動の窓口となる担当者を記入してください。	役職・氏名：事務局 山田真名美		
	電話番号：050-3174-2081		FAX：050-000-000
	メールアドレス：info@akurume.com		

II 要望内容

1 地域が有する課題 (困っていること) ※地域の現況を記載してください。 ※イメージ図や写真があれば貼付してください。	概要 (1行程度)	人口減少社会における”市民自治力”の低下。
	内容	石川県加賀市の人口は、昭和 60 年の 80,877 人をピークに減少の一途を辿り、南加賀エリア唯一の消滅可能性都市に指定され、その人口減少数は県内トップである。 人口減少により税収が減少する行政においては自治機能が低下していくことが大きな課題であり、これからは「地域の課題を地域の手で自ら解決する市民自治」に対する機運づくりや取り組みが求められている。
2 課題解決に向けて 地域ができること		「地域で〇〇という課題をどうにかしたいが、仲間がいない」「移住したばかりで拠り所がない」といった、行政では解決が難しい市民同士の繋がりやそこから生まれる市民活動を促進する場の提供。
3 課題解決に向けて 大学に期待する活動 ※どちらかに○をつけ、右枠に大学に期待する活動内容を記入してください。	()	①地域課題の調査・分析、地域活性化策の提案 (地域課題発掘枠)
	(○)	②地域課題の解決において実践的な活動 (地域共創支援枠) 公益財団法人あくるめが実施する事業（助成事業／地域交流事業など）への参画および若者視点による活動の分析と企画の実施および SNS などを用いた広報活動

※「3 課題活動に向けて大学に期待する活動」とは、大学の専門性（観光、まちづくり、農業、デジタル技術 等）や、学生の若い感性を活かした活動を指します。

4 課題解決に向けたこれまでの取組み・成果及び令和4年度の成果目標 ※これまでに取組みを実施していない場合は、令和4年度の成果目標のみ記載してください。	公益財団法人あくるめは、加賀市をフィールドに活動するコミュニティ財団を目指し、2017年に一般財団法人として設立。 2020年には公益財団法人化を果たす。 現在は子育て、若者、地域活性化支援財団として助成事業をはじめとした複数の事業を実施。 令和4年度では、加賀市での繋がりを求める市民同士が繋がれる機会や場を提供し、その結果地域の力で地域を盛り上げる市民自治活動のための機運づくりを行うことを目標とする。
5 大学のゼミ等の活動に対する地域からの支援 ※ゼミ等の活動に対し、地域で支援できる事項があれば可能な限り具体的に記入してください。	・交通費補助あり ・作業拠点の提供（wifi 完備） ・フィールドワークへの協力 ・調査対象の地域住民との仲介 ・地域住民が集まる場の設定
6 地域での連携団体・企業 ※活動を行う際に情報収集や意見交換等で連携する団体等があれば記入してください。	なし

Ⅲ 連携して取り組みたい大学のゼミ等について ※希望があれば記入してください。

1 連携して取り組みたい大学・ゼミ教員名	北陸大学 田尻教授
2 連携を希望するゼミ等と事前に申請内容を相談していますか。 ※どちらかに○をつけてください。	(○) ①ゼミ等と事前に申請内容を相談している。 () ②ゼミ等と事前相談していない。

令和4年度地域課題研究ゼミナール支援事業 「地域からの要望」

※要望書は課題ごとに作成してください。

I 申請団体及び連絡担当者

市町名	能美市	団体名	能美市役所産業交流部農林課
連絡担当者	所 属：能美市役所産業交流部農林課		
※活動の窓口となる担当者を記入してください。	役職・氏名：主査 由田 和也		
	電話番号：0761-58-2256		FAX：0761-58-2297
	メールアドレス：norin@city.nomi.lg.jp		

II 要望内容

1 地域が有する課題 (困っていること) ※地域の現況を記載してください。 ※イメージ図や写真があれば貼付してください。	概要 (1行程度)	能美市伝統野菜「加賀丸いも」の知名度向上と販路開拓・拡大
	内容	・「加賀丸いも」生産農家の高齢化や新たな担い手不足が課題となっており、地域としても次世代に継承していきたいと考えている。 ・商工会のアンケートでは、一般家庭や若者に対しての認知度及び消費が少ない結果であったため、ターゲットに対して周知PRによる消費拡大を図りたい。またJA等による加工品もあるが、まだまだ周知不足の状況にある。 ・今年度、コロナ禍により、既存事業者との取引量が減少し、在庫が増加。一般家庭や若者を中心とした「加賀丸いも」の知名度向上及び新たな販路開拓・拡大に取り組みたい。
2 課題解決に向けて地域ができること		・「加賀丸いも」生産に関わっている農家及びJAとのマッチング ・販路開拓 ・拡大に向けた関係機関との調整支援
3 課題解決に向けて大学に期待する活動 ※どちらかに○をつけ、右枠に大学に期待する活動内容を記入してください。	()	①地域課題の調査・分析、地域活性化策の提案 (地域課題発掘枠)
	(○)	②地域課題の解決において実践的な活動 (地域共創支援枠) ・「加賀丸いも」の魅力を伝える映像等を活用した新たな販路開拓・拡大の取り組み(EX:JA直販所・学園祭等催しでの販促、SNSを活用したPR、等) ・ターゲットに応じた動画の編集やQRコードを活用したPRの促進(レシピ動画・レシピ集・栄養成分表示) ・食材としての価値の見直しと発想の転換

※「3 課題活動に向けて大学に期待する活動」とは、大学の専門性(観光、まちづくり、農業、デジタル技術 等)や、学生の若い感性を活かした活動を指します。

4 課題解決に向けたこれまでの取組み・成果及び令和4年度の成果目標 ※これまでに取組みを実施していない場合は、令和4年度の成果目標のみ記載してください。	【これまでの取組み・成果】 ・「加賀丸いも」のPR動画の制作 - 加賀丸いも栽培の様子、レシピの考案、栄養学部教授の解説 ・金沢市内の飲食店の協力によるレシピ動画の制作 ・栄養成分・ミネラル成分の分析・成果 については、グルテンフリー等栄養価の観点からもアピールポイントを明確化できた。 【令和4年度の成果目標】 ・新たな販売先の確保
5 大学のゼミ等の活動に対する地域からの支援 ※ゼミ等の活動に対し、地域で支援できる事項があれば可能な限り具体的に記入してください。	・「加賀丸いも」生産に関わっている農家及びJAとのマッチング ・販路開拓 ・拡大に向けた関係機関との調整支援
6 地域での連携団体・企業 ※活動を行う際に情報収集や意見交換等で連携する団体等があれば記入してください。	・JA根上、JA能美 ・加賀丸いも生産農家 ・石川県南加賀農林総合事務所 ・南加賀地区丸いも生産協議会 ・能美市商工会

Ⅲ 連携して取り組みたい大学のゼミ等について ※希望があれば記入してください。

1 連携して取り組みたい大学・ゼミ教員名	金沢学院大学 芸術学部 飯田栄治教授
2 連携を希望するゼミ等と事前に申請内容を相談していますか。 ※どちらかに○をつけてください。	(○) ①ゼミ等と事前に申請内容を相談している。 () ②ゼミ等と事前相談していない。

令和4年度地域課題研究ゼミナール支援事業 「地域からの要望」

※要望書は課題ごとに作成してください。

I 申請団体及び連絡担当者

市町名	白山市	団体名	産業部
連絡担当者	所 属：地産地消課		
※活動の窓口となる担当者を記入してください。	役職・氏名：課長補佐 東 浩子		
	電話番号：076-274-9522		FAX：076-274-4177
	メールアドレス：chisanchisyou@city.hakusan.lg.jp		

II 要望内容

1 地域が有する課題 (困っていること) ※地域の現況を記載してください。 ※イメージ図や写真があれば貼付してください。	概要 (1行程度)	白山市農林水産物ブランド等の知名度向上
	内容	本市では、白山ろくから日本海に至る県下最大の広い市域において、地域ごとの地理的条件を活かし、多種多様な農林水産物が生産されています。 しかし、生産者の高齢化や後継者不足による就業人口の減少などにより、農林水産物の生産量は最盛期に比べ減少しています。 このようなことから、本市農林水産物の魅力を発信し、認知度を高め、消費拡大を図るため、農林水産物のブランド化の推進や新たな加工品の開発や商品化を進めていくことが課題となっています。
2 課題解決に向けて 地域ができること	農林水産物に関する情報提供生産者や事業者を紹介完成商品のPR	
3 課題解決に向けて 大学に期待する活動 ※どちらかに○をつけ、右 枠に大学に期待する活動 内容を記入してください。	()	①地域課題の調査・分析、地域活性化策の提案 (地域課題発掘枠)
	(○)	②地域課題の解決において実践的な活動 (地域共創支援枠) 農林水産物を活用した商品開発開発商品のパッケージデザイン、PR媒体(チラシ・ポスター)の作成

※「3 課題活動に向けて大学に期待する活動」とは、大学の専門性(観光、まちづくり、農業、デジタル技術 等)や、学生の若い感性を活かした活動を指します。

4 課題解決に向けた これまでの取組み・成果 及び令和 4 年度の成果 目標 ※これまでに取組みを実施していない場合は、令和 4 年度の成果目標のみ記載してください。	本市は酒米の栽培や白山の伏流水を利用した酒造りが盛んであることから、連携ゼミとともに、日本酒を活用した商品開発に取り組んでいます。 令和 3 年度は日本酒、酒粕、酒米の削り粉を使用したクッキーを考案し、ショッピングモールや駅で配布した試作品のアンケート結果をもとに改良を重ねているところです。 令和 4 年度は開発商品のパッケージデザインに取り組む予定です。 包材にリサイクル素材を使用するなど、SDGs にも取り組みたいと考えています。 試作品完成後は、菓子製造・販売事業者を引き継ぎ商品化を目指します。 商品は市の広報やSNSで紹介するほか、10月に本市で開催予定の日本ジオパーク全国大会など、市のイベントでも販売し、商品を通して白山市を市内外に発信したいと考えています。
5 大学のゼミ等の活動 に対する地域からの支 援 ※ゼミ等の活動に対し、地域で支援できる事項があれば可能な限り具体的に記入してください。	特になし
6 地域での連携団体・企業 ※活動を行う際に情報収集や意見交換等で連携する団体等があれば記入してください。	酒米生産者、酒造業者、菓子製造・販売事業者

Ⅲ 連携して取り組みたい大学のゼミ等について ※希望があれば記入してください。

1 連携して取り組みたい 大学・ゼミ教員名	金城大学短期大学部 ビジネス実務学科 越野裕美子准教授
2 連携を希望するゼミ等 と事前に申請内容を相談 していますか。 ※どちらかに○をつけてください。	(○) ①ゼミ等と事前に申請内容を相談している。 () ②ゼミ等と事前相談していない。

令和 4 年度地域課題研究ゼミナール支援事業 「地域からの要望」

※要望書は課題ごとに作成してください。

I 申請団体及び連絡担当者

市町名	小松市	団体名	小松市
連絡担当者 ※活動の窓口となる担当 者を記入してください。	所 属：埋蔵文化財センター 役職・氏名：主査 横幕 真 電話番号：0761-47-5713 FAX：0761-47-5715 メールアドレス：maibun@city.komatsu.lg.jp		

II 要望内容

1 地域が有する課題 (困っていること) ※地域の現況を記載して ください。 ※イメージ図や写真が あれば貼付してください。	概要 (1 行程度)	「加賀立国 1200 年」を契機とした地域の歴史 PR と学びの場創出
	内容	・令和 5 年 (2023) は古代加賀国が生まれて 1200 年という大きな節目を迎える。そのころの国の中心地「国府」の推定地は、小松市北部～能美市域にまたがる「能美郡」にあったと言われ、市内外へのアピールポイントとなり得る。 ・この「加賀立国 1200 年」をきっかけに、市民に地域の歴史資産の魅力を積極的に発信していきたい。これまでの活動に加え、さらに若い力と自由な発想を取り入れて盛り上げていきたい。 ・学生の皆さんには、国府をとりまく当市の遺跡を野外実習のフィールドとして深く学んでもらい、その成果を地域に公開するとともに、市民の学びの場創出や歴史資産の活用・発信について考え、このコロナ禍での新たな取り組みも提案してほしい。
2 課題解決に向けて 地域ができること	・古墳調査 (測量・発掘) の実施と指導・地域の歴史資産の活用や情報発信	
3 課題解決に向けて 大学に期待する活動 ※どちらかに○をつけ、右 枠に大学に期待する活動 内容を記入してください。	()	①地域課題の調査・分析、地域活性化策の提案 (地域課題発掘枠)
	(○)	②地域課題の解決において実践的な活動 (地域共創支援枠) ・考古学の野外実習調査と、その成果の地域への発信 ・地域の歴史資産の活用・発信方法の提案

※「3 課題活動に向けて大学に期待する活動」とは、大学の専門性 (観光、まちづくり、農業、デジタル技術 等) や、学生の若い感性を活かした活動を指します。

4 課題解決に向けたこれまでの取組み・成果及び令和 4 年度の成果目標 ※これまでに取組みを実施していない場合は、令和 4 年度の成果目標のみ記載してください。	【これまでの取組み】 ・地元向けの勉強会（H24～） ・国府関連遺跡調査 ・現地見学会（H27～） ・国府をとりまく能美市との連携（R01～）＝古墳マップ等新コンテンツ制作、市民と古墳調査隊結成、連携企画展の開催ほか ※令和 2・3 年度はコロナ禍のため事業規模縮小 【令和 4 年度の成果目標】 ・市の史跡となった河田山 1 号墳 ・9 号墳の測量調査実施・古墳公園やリニューアルした資料館の今後の活用 ・発信方法の計画・古墳調査隊による河田向山古墳群測量調査実施（継続）
5 大学のゼミ等の活動に対する地域からの支援 ※ゼミ等の活動に対し、地域で支援できる事項があれば可能な限り具体的に記入してください。	・具体的なゼミ等活動への助言、協力 ・道具や休憩場所等の準備、提供
6 地域での連携団体・企業 ※活動を行う際に情報収集や意見交換等で連携する団体等があれば記入してください。	・加賀立国 1200 年遺跡魅力発信委員会（令和元年度発足、小松市・能美市 2 市連携） ・国府歴史サークル・国府校下地域協議会

Ⅲ 連携して取り組みたい大学のゼミ等について ※希望があれば記入してください。

1 連携して取り組みたい大学・ゼミ教員名	金沢学院大学文学部文学科歴史学専攻 戸根比呂子講師
2 連携を希望するゼミ等と事前に申請内容を相談していますか。 ※どちらかに○をつけてください。	(○) ①ゼミ等と事前に申請内容を相談している。 () ②ゼミ等と事前相談していない。

令和4年度地域課題研究ゼミナール支援事業 「地域からの要望」

※要望書は課題ごとに作成してください。

I 申請団体及び連絡担当者

市町名	小松市	団体名	小松市にぎわい交流部 文化振興課
連絡担当者	所 属：小松市にぎわい交流部 文化振興課		
※活動の窓口となる担当者を記入してください。	役職・氏名：課長 橋本 健		
	電話番号：0761-24-8130		FAX：0761-23-6404
	メールアドレス：bunkaka@city.komatsu.lg.jp		

II 要望内容

1 地域が有する課題 (困っていること) ※地域の現況を記載してください。 ※イメージ図や写真があれば貼付してください。	概要 (1行程度)	石工職人の映像記録保存、後継者の育成など
	内容	現在市内で唯一の石工職人（石匠）中谷篁氏の石工技術の映像記録保存
2 課題解決に向けて 地域ができること	密着取材による記録保存の承諾、滝ヶ原町の石材産業関連個所の案内など	
3 課題解決に向けて 大学に期待する活動 ※どちらかに○をつけ、右枠に大学に期待する活動内容を記入してください。	()	①地域課題の調査・分析、地域活性化策の提案 (地域課題発掘枠)
	(○)	②地域課題の解決において実践的な活動 (地域共創支援枠) 石工技術の記録保存と魅力発信

※「3 課題活動に向けて大学に期待する活動」とは、大学の専門性（観光、まちづくり、農業、デジタル技術 等）や、学生の若い感性を活かした活動を指します。

4 課題解決に向けたこれまでの取組み・成果及び令和4年度の成果目標 ※これまでに取組みを実施していない場合は、令和4年度の成果目標のみ記載してください。	石材の搬入から削り出し、加工、仕上げまでの工程をドキュメンタリー映像を撮影し記録保存する。 中谷篁氏のライフワークや道具、イベントや金沢職人大学での講師の場面なども映像に加え、魅力発信に繋げる。
5 大学のゼミ等の活動に対する地域からの支援 ※ゼミ等の活動に対し、地域で支援できる事項があれば可能な限り具体的に記入してください。	
6 地域での連携団体・企業 ※活動を行う際に情報収集や意見交換等で連携する団体等があれば記入してください。	小松市滝ヶ原町 滝ヶ原観光ネットワーク

Ⅲ 連携して取り組みたい大学のゼミ等について ※希望があれば記入してください。

1 連携して取り組みたい大学・ゼミ教員名	金沢学院大学地域連携推進センター長（芸術学部長 飯田栄治教授）
2 連携を希望するゼミ等と事前に申請内容を相談していますか。 ※どちらかに○をつけてください。	() ①ゼミ等と事前に申請内容を相談している。 (○) ②ゼミ等と事前相談していない。

令和4年度地域課題研究ゼミナール支援事業 「地域からの要望」

※要望書は課題ごとに作成してください。

I 申請団体及び連絡担当者

市町名	小松市	団体名	小松市寺町曳山行事保存会
連絡担当者	所 属：小松市にぎわい交流部 文化振興課		
※活動の窓口となる担当者を記入してください。	役職・氏名：課長 橋本 健		
	電話番号：0761-24-8130		FAX：0761-23-6404
	メールアドレス：bunkaka@city.komatsu.lg.jp		

II 要望内容

1 地域が有する課題 (困っていること) ※地域の現況を記載してください。 ※イメージ図や写真があれば貼付してください。	概要 (1行程度)	後継者の育成、新たな魅力発信など
	内容	少子化や世帯数の減少、関係者の高齢化などにより町内で子供役者を揃えることができない。
2 課題解決に向けて 地域ができること	地域（町内）で行われてきた取り組みを部外者に公開すること	
3 課題解決に向けて 大学に期待する活動 ※どちらかに○をつけ、右 枠に大学に期待する活動 内容を記入してください。	()	①地域課題の調査・分析、地域活性化策の提案 (地域課題発掘枠)
	(○)	②地域課題の解決において実践的な活動 (地域共創支援枠) 曳山行事（子供歌舞伎上演）の記録保存と魅力発信

※「3 課題活動に向けて大学に期待する活動」とは、大学の専門性（観光、まちづくり、農業、デジタル技術 等）や、学生の若い感性を活かした活動を指します。

4 課題解決に向けたこれまでの取組み・成果及び令和4年度の成果目標 ※これまでに取組みを実施していない場合は、令和4年度の成果目標のみ記載してください。	曳山行事上演までの稽古の様子や舞台裏までのドキュメンタリー映像を撮影し、上映会を開催。 地域の伝統芸能の新しい視点での魅力発信に繋げる。
5 大学のゼミ等の活動に対する地域からの支援 ※ゼミ等の活動に対し、地域で支援できる事項があれば可能な限り具体的に記入してください。	
6 地域での連携団体・企業 ※活動を行う際に情報収集や意見交換等で連携する団体等があれば記入してください。	小松市寺町

Ⅲ 連携して取り組みたい大学のゼミ等について ※希望があれば記入してください。

1 連携して取り組みたい大学・ゼミ教員名	金沢学院大学地域連携推進センター長（芸術学部長 飯田栄治教授）
2 連携を希望するゼミ等と事前に申請内容を相談していますか。 ※どちらかに○をつけてください。	(○) ①ゼミ等と事前に申請内容を相談している。 () ②ゼミ等と事前相談していない。

令和4年度地域課題研究ゼミナール支援事業 「地域からの要望」

※要望書は課題ごとに作成してください。

I 申請団体及び連絡担当者

市町名	石川県	団体名	石川県庁
連絡担当者	所 属：企画振興部交通政策課		
※活動の窓口となる担当者を記入してください。	役職・氏名：主任主事 細川達也		
	電話番号：076-225-1332		FAX：076-225-1399
	メールアドレス：tatsu-h@pref.ishikawa.lg.jp		

II 要望内容

1 地域が有する課題 (困っていること) ※地域の現況を記載してください。 ※イメージ図や写真があれば貼付してください。	概要 (1行程度)	のと鉄道観光列車における個人客の利用促進
	内容	能登地域の七尾～穴水間を走る「のと鉄道」は、地域の日常生活を支える生活交通としての役割に加え、北陸新幹線開業後は、観光列車「のと里山里海号」の導入や団体旅行客の積極的な誘致により、開業効果を能登へ波及させるための二次交通機関としての役割も果たしている。 のと鉄道の沿線やその周辺には、能登の里山・里海を楽しむことのできる眺望のほか、豊かな食材や祭りなどの観光資源が数多く存在することから、のと鉄道ではこれらの観光資源と列車の乗車を組み合わせたツアーを旅行会社に提案するなど、県外団体客の誘致に積極的に取り組んできたところである。 こうした取り組みが奏功し、観光列車「のと里山里海号」を利用する団体客数は増加しているものの、個人客は減少傾向にあることから、個人客に向けた情報発信が課題となっている。 加えて、コロナ禍における旅行や帰省等の自粛の影響を受け、利用者数が減少している。 (参考)R2年度観光列車利用者数:6,036人
2 課題解決に向けて地域ができること	・のと鉄道と連携した、仮想現実（VR）空間構築における各種協力 ・紹介コンテンツ選定における助言、情報提供 ・撮影時の各種調整（乗客への周知、自治体関係部署への連絡等） など	
3 課題解決に向けて大学に期待する活動 ※どちらかに○をつけ、右枠に大学に期待する活動内容を記入してください。	○	①地域課題の調査・分析、地域活性化策の提案 (地域課題発掘枠)

	(○)	②地域課題の解決において実践的な活動 (地域共創支援枠) ・コロナ禍に対応したのと鉄道観光列車のPR ・若者の観光列車の乗車数増加に向けた学生目線の提案
--	-----	---

※「3 課題活動に向けて大学に期待する活動」とは、大学の専門性（観光、まちづくり、農業、デジタル技術 等）や、学生の若い感性を活かした活動を指します。

4 課題解決に向けたこれまでの取組み・成果及び令和4年度の成果目標 ※これまでに取組みを実施していない場合は、令和4年度の成果目標のみ記載してください。	課題の解決に向け、観光列車には、車窓からの風景や、車内で提供される飲食プラン等の魅力があるため、これらを個人客にPRすることにより、個人客の利用促進を図る。 これまで、同社においてはパンフレット等により観光列車をPRしてきたが、コロナ禍において、個人客に観光列車の魅力を伝える上では、紙媒体ではなく、遠隔地からでも豊富な情報を届け、臨場感を感じやすいVR等によるPRがより効果的であると思われる。 また、若者の乗客者数増加に向けて、学生目線での企画提案があると望ましい。(のと鉄道沿線およびその周辺にある観光資源について参考写真を添付)
5 大学のゼミ等の活動に対する地域からの支援 ※ゼミ等の活動に対し、地域で支援できる事項があれば可能な限り具体的に記入してください。	・現地におけるミーティング場所の提供（のと鉄道本社（穴水町）を想定） ・沿線の観光地等の情報提供 ・県及びのと鉄道が保有する備品の貸出
6 地域での連携団体・企業 ※活動を行う際に情報収集や意見交換等で連携する団体等があれば記入してください。	・のと鉄道 ・七尾市、穴水町（沿線市町）など

Ⅲ 連携して取り組みたい大学のゼミ等について ※希望があれば記入してください。

1 連携して取り組みたい大学・ゼミ教員名	北陸大学 クリエイティブ研究会 (顧問：藤本雄紀 講師、副顧問：日下恭輔 助教)
2 連携を希望するゼミ等と事前に申請内容を相談していますか。 ※どちらかに○をつけてください。	(○) ①ゼミ等と事前に申請内容を相談している。 () ②ゼミ等と事前相談していない。

令和4年度地域課題研究ゼミナール支援事業 「地域からの要望」

※要望書は課題ごとに作成してください。

I 申請団体及び連絡担当者

市町名	石川県	団体名	石川県庁
連絡担当者	所 属：企画振興部交通政策課		
※活動の窓口となる担当者を記入してください。	役職・氏名：主任主事 細川達也		
	電話番号：076-225-1332		FAX：076-225-1399
	メールアドレス：tatsu-h@pref.ishikawa.lg.jp		

II 要望内容

1 地域が有する課題 (困っていること) ※地域の現況を記載してください。 ※イメージ図や写真があれば貼付してください。	概要 (1行程度)	コロナ禍におけるのと鉄道利用実態の把握
	内容	能登地域の七尾市・穴水町間を走る「のと鉄道」は、地域の日常生活を支える生活交通としての役割に加え、北陸新幹線開業後は、観光列車「のと里山里海号」の導入や団体旅行客の積極的な誘致により、開業効果を能登へと波及させるための二次交通機関としての役割も果たしている。 同社においては、今後の利用促進策の検討等に活用するため、例年、利用状況調査を実施しているが、コロナ禍の現状においては調査員と乗客が接触する従来の方法での調査が困難であることから、コロナ禍に適した形での調査を実施するとともに、その結果の分析を通して、今後の利用促進策を検討したい。
2 課題解決に向けて地域ができること	・利用状況調査における各種協力 ・のと鉄道がこれまで実施した調査結果の提供 ・調査内容に関する助言 ・調査時の各駅への連絡、乗客への周知 等	
3 課題解決に向けて大学に期待する活動 ※どちらかに○をつけ、右枠に大学に期待する活動内容を記入してください。	()	①地域課題の調査・分析、地域活性化策の提案 (地域課題発掘枠)
	(○)	②地域課題の解決において実践的な活動 (地域共創支援枠) ・コロナ禍に対応した形（デジタル技術の活用などを想定）でののと鉄道利用状況調査の実施および結果の分析 ・（可能な範囲での）乗降者数における子ども（学生）と大人の内訳の計測

※「3 課題活動に向けて大学に期待する活動」とは、大学の専門性（観光、まちづくり、農業、デジタル技術 等）や、学生の若い感性を活かした活動を指します。

4 課題解決に向けた これまでの取組み・成果 及び令和 4 年度の成果 目標 ※これまでに取組みを実施していない場合は、令和4年度の成果目標のみ記載してください。	これまで、のと鉄道では、年1回、平日1日間の利用者を対象に、利用者の発着駅、利用目的を調査していた。 令和4年度については、デジタル技術の活用等により、コロナ禍においても利用者・調査員ともに不安を抱かない形での調査を実施し、のと鉄道の本社がある穴水の穴水駅だけではなく、他の駅への調査対象駅の拡充や（可能な範囲で）利用者に占める子ども（学生）と大人等の区別も把握できるようにすること通じて、今後の利用促進策を検討したい。
5 大学のゼミ等の活動 に対する地域からの支 援 ※ゼミ等の活動に対し、地域で支援できる事項があれば可能な限り具体的に記入してください。	・現地におけるミーティング場所の提供（のと鉄道本社（穴水町）を想定） ・県、のと鉄道、及び沿線市町（七尾市、穴水町）が保有する備品の貸出
6 地域での連携団体・企 業 ※活動を行う際に情報収集や意見交換等で連携する団体等があれば記入してください。	・のと鉄道 ・七尾市、穴水町（沿線市町）

Ⅲ 連携して取り組みたい大学のゼミ等について ※希望があれば記入してください。

1 連携して取り組みたい 大学・ゼミ教員名	国際高等専門学校 国際理工学科 袖美樹子 准教授
2 連携を希望するゼミ等 と事前に申請内容を相談 していますか。 ※どちらかに○をつけてください。	(○) ①ゼミ等と事前に申請内容を相談している。 () ②ゼミ等と事前相談していない。

令和4年度地域課題研究ゼミナール支援事業 「地域からの要望」

※要望書は課題ごとに作成してください。

I 申請団体及び連絡担当者

市町名	白山市	団体名	市民生活部
連絡担当者	所 属：環境課		
※活動の窓口となる担当者を記入してください。	役職・氏名：係長 本田 和也		
	電話番号：076-274-9538		FAX：076-274-9535
	メールアドレス：kaz-honda@city.hakusan.lg.jp		

II 要望内容

1 地域が有する課題 (困っていること) ※地域の現況を記載してください。 ※イメージ図や写真があれば貼付してください。	概要 (1行程度)	白山市に賦存する再生可能エネルギーの活用
	内容	白山市には、平成23年9月、日本ジオパークに認定された。このジオパークにおいて、水の循環は、大きなテーマであり、本市では、この白山手取川ジオパークの水の循環を活用した再生可能エネルギーの導入を検討している。 小水力や地下水の地中熱も進める必要があるが、再生エネルギーの供給量として少ない、施設を設置できないなどの課題も今後想定される。 そこで、小水力や地下水の地中熱以外にも、本市の特色を活かした未利用エネルギーと言われる「循環する水の音」をエネルギーに変換できないか考えているが、専門的な知識がないため、苦慮している。 本市では、令和3年3月、第2次地球温暖化対策地域推進計画を、策定し、併せて、2050年温室効果ガス排出実質ゼロとする、「ゼロカーボンシティ」を宣言した。 更に、令和4年3月、このカーボンニュートラルを進めるための工程表である「白山市脱炭素ロードマップ」を作成することとしている。 本ロードマップでは、 1. 白山市の豊かな自然を活かした再生エネルギーの導入推進 2. 市民、事業者、行政の省エネルギーなどの活動促進 3. 地域分散型エネルギーのネットワーク構築に向けた地域環境の整備 4. 白山市の産業競争力を活かした脱炭素・循環型社会形成 5. エネルギーの地産地消ができる多種多様な主体の育成 の5つを大きな柱としている。 また、このロードマップでは、SDGsの経済、社会、環境の3側面の統合的向上を目指している。

2 課題解決に向けて地域ができること	エネルギーの賦存量や適正な場所がまったくわからないため、地域を特定できないが、特定されれば、再生エネルギーの導入にとどまらない、SDGs 残りの側面である、経済、社会の地域課題も併せて解決できればと思っています。	
3 課題解決に向けて大学に期待する活動 ※どちらかに○をつけ、右枠に大学に期待する活動内容を記入してください。	(○)	①地域課題の調査・分析、地域活性化策の提案 (地域課題発掘枠) 「水の音」を 1. エネルギーに変換できるのか。 2. できるとすれば、どこで、どれだけできるのか。 3. そのままでできないとすれば、どういった工夫が必要か。 4. どういった装置、施設が必要なのか。 を調査、研究していただきたい。
	()	②地域課題の解決において実践的な活動 (地域共創支援枠)

※「3 課題活動に向けて大学に期待する活動」とは、大学の専門性（観光、まちづくり、農業、デジタル技術 等）や、学生の若い感性を活かした活動を指します。

4 課題解決に向けたこれまでの取組み・成果及び令和 4 年度の成果目標 ※これまでに取組みを実施していない場合は、令和 4 年度の成果目標のみ記載してください。	「3 課題解決に向けて大学に期待する活動」欄にある 1. エネルギーに変換できるのか。 2. できるとすれば、どこで、どれだけできるのか。 3. そのままでできないとすれば、どういった工夫が必要か。 を成果目標としたいと考えている。
5 大学のゼミ等の活動に対する地域からの支援 ※ゼミ等の活動に対し、地域で支援できる事項があれば可能な限り具体的に記入してください。	上記により未定
6 地域での連携団体・企業 ※活動を行う際に情報収集や意見交換等で連携する団体等があれば記入してください。	上記により未定

Ⅲ 連携して取り組みたい大学のゼミ等について ※希望があれば記入してください。

1 連携して取り組みたい大学・ゼミ教員名	金沢大学 上野教授
2 連携を希望するゼミ等と事前に申請内容を相談していますか。 ※どちらかに○をつけてください。	() ①ゼミ等と事前に申請内容を相談している。 (○) ②ゼミ等と事前相談していない。

令和4年度地域課題研究ゼミナール支援事業 「地域からの要望」

※要望書は課題ごとに作成してください。

I 申請団体及び連絡担当者

市町名	白山市	団体名	企画振興部
連絡担当者 ※活動の窓口となる担当者を記入してください。	所 属：SDG s ・地方創生推進室 役職・氏名：室長補佐 北村 光志 電話番号：076-274-9503 FAX：076-274-9518 メールアドレス：m-kitamura@city.hakusan.lg.jp		

II 要望内容

1 地域が有する課題 (困っていること) ※地域の現況を記載してください。 ※イメージ図や写真があれば貼付してください。	概要 (1行程度)	・取得したデータの活用方法 ・地下水データからわかる白山市の地下水の特徴 ・地下水と健康とのつながり
	内容	地下水データを活用した学習プログラムの取り組み 白山市の最大の地域資源は「水」であり、水力発電やお酒をはじめとした醸造文化、工業団地の整備による企業誘致など、多くの恵みを与えてくれている。 白山市は SDG s 推進事業の一つに地下水のデータ（水温、水位等）を市内5か所から取得している。 このデータがうまく活用されず、子どもたちをはじめとした学習に活用できないかが課題である。
2 課題解決に向けて地域ができること	取り組み場所の情報の提供と調整	
3 課題解決に向けて大学に期待する活動 ※どちらかに○をつけ、右枠に大学に期待する活動内容を記入してください。	(○)	①地域課題の調査・分析、地域活性化策の提案（地域課題発掘枠） ・データの活用方法（子どもたちへの学習） ・白山市の地下水の特徴調査 ・他地域の活用事例と白山市への提案
	()	②地域課題の解決において実践的な活動（地域共創支援枠）

※「3 課題活動に向けて大学に期待する活動」とは、大学の専門性（観光、まちづくり、農業、デジタル技術 等）や、学生の若い感性を活かした活動を指します。

4 課題解決に向けたこれまでの取組み・成果及び令和4年度の成果目標 ※これまでに取組みを実施していない場合は、令和4年度の成果目標のみ記載してください。	〈令和4年度の成果目標〉 ・意見交換の実施 ・データの検証 ・市関係部署とのヒアリング
5 大学のゼミ等の活動に対する地域からの支援 ※ゼミ等の活動に対し、地域で支援できる事項があれば可能な限り具体的に記入してください。	打ち合わせ場所（会議室）の提供
6 地域での連携団体・企業 ※活動を行う際に情報収集や意見交換等で連携する団体等があれば記入してください。	白山市役所（企画課、環境課等）

Ⅲ 連携して取り組みたい大学のゼミ等について ※希望があれば記入してください。

1 連携して取り組みたい大学・ゼミ教員名	特になし
2 連携を希望するゼミ等と事前に申請内容を相談していますか。 ※どちらかに○をつけてください。	() ①ゼミ等と事前に申請内容を相談している。 (○) ②ゼミ等と事前相談していない。

令和4年度地域課題研究ゼミナール支援事業 「地域からの要望」

※要望書は課題ごとに作成してください。

I 申請団体及び連絡担当者

市町名	白山市	団体名	企画振興部
連絡担当者	所 属：SDG s ・ 地方創生推進室		
※活動の窓口となる担当者を記入してください。	役職・氏名：室長補佐 北村 光志		
	電話番号：076-274-9503		FAX：076-274-9518
	メールアドレス：m-kitamura@city.hakusan.lg.jp		

II 要望内容

1 地域が有する課題 (困っていること) ※地域の現況を記載してください。 ※イメージ図や写真があれば貼付してください。	概要 (1行程度)	・カキの木など、実のなる樹木の管理、伐採時の木材の活用方法の提案 ・人と野生動物との適正な緩衝地帯づくりの提案 ・山林の管理状態と対策への提案・野生動物の有効な監視体制と持続可能な手法の提案・野生動物の有効な撃退法法の提案 ・若者や女性などの起業につなげられる新たな収入源としての提案
	内容	獣害対策と地域振興の研究 白山市は市域の8割が山林であり、毎年、サル・イノシシ、クマなどが出没し、農林被害、人への危害などに悩まされている。 これまでも、電気柵、カキの木伐採への補助金などの施策を打ち出しているが、費用面からも限られた効果しか上がらない。特にサルは集団で活動し、家庭菜園などを荒らしまわる状態である。 これは、SDG s における目標15「陸の豊かさを守ろう」にも掲げられており、陸域生態系の保護、持続可能な森林の経営など、どうバランスをとるべきかが課題でなる。
2 課題解決に向けて地域ができること	これまでの取り組み情報の提供	
3 課題解決に向けて大学に期待する活動 ※どちらかに○をつけ、右枠に大学に期待する活動内容を記入してください。	(○)	①地域課題の調査・分析、地域活性化策の提案 (地域課題発掘枠) ・現場で実施している施策の効果検証 ・白山市の課題に有効な対策の提案 ・持続可能な取り組みとして、安定した収入が必要であることから、起業、若者が関わるための条件等の提案
	()	②地域課題の解決において実践的な活動 (地域共創支援枠)

※「3 課題活動に向けて大学に期待する活動」とは、大学の専門性（観光、まちづくり、農業、デジタル技術 等）や、学生の若い感性を活かした活動を指します。

4 課題解決に向けたこれまでの取組み・成果及び令和4年度の成果目標 ※これまでに取組みを実施していない場合は、令和4年度の成果目標のみ記載してください。	〈令和4年度の成果目標〉 ・白山ろく地域の現状の課題と整理 ・市関係部署とのヒアリング ・伐採等で出た資材の活用事案や取組提案
5 大学のゼミ等の活動に対する地域からの支援 ※ゼミ等の活動に対し、地域で支援できる事項があれば可能な限り具体的に記入してください。	打ち合わせ場所（会議室）の提供
6 地域での連携団体・企業 ※活動を行う際に情報収集や意見交換等で連携する団体等があれば記入してください。	白山市役所（企画課、森林対策課等）

Ⅲ 連携して取り組みたい大学のゼミ等について ※希望があれば記入してください。

1 連携して取り組みたい大学・ゼミ教員名	特になし
2 連携を希望するゼミ等と事前に申請内容を相談していますか。 ※どちらかに○をつけてください。	() ①ゼミ等と事前に申請内容を相談している。 (○) ②ゼミ等と事前相談していない。

令和4年度地域課題研究ゼミナール支援事業 「地域からの要望」

※要望書は課題ごとに作成してください。

I 申請団体及び連絡担当者

市町名	白山市	団体名	企画振興部
連絡担当者 ※活動の窓口となる担当者を記入してください。	所 属：SDG s ・地方創生推進室 役職・氏名：室長補佐 北村 光志 電話番号：076-274-9503 FAX：076-274-9518 メールアドレス：m-kitamura@city.hakusan.lg.jp		

II 要望内容

1 地域が有する課題 (困っていること) ※地域の現況を記載してください。 ※イメージ図や写真があれば貼付してください。	概要 (1行程度)	・学生の中でのエシカル消費の認知度 ・料理やファッションなど生活の中から学ぶための提案。 ・地産地消からみる提案 ・取組事例から白山市への提案
	内容	家庭で始めるエシカル消費の促進 エシカル消費は、SDG s における、 目標2「飢餓をゼロに」 目標12「つくる責任 つかう責任」 にも関連しており、人、社会、地域、環境に配慮した消費行動であり、わかりやすく、簡単に参加できるSDG s の取り組みとして参加できることを伝えることが課題である。
2 課題解決に向けて 地域ができること	これまでの取り組み情報の提供	
3 課題解決に向けて 大学に期待する活動 ※どちらかに○をつけ、右枠に大学に期待する活動内容を記入してください。	(○)	①地域課題の調査・分析、地域活性化策の提案 (地域課題発掘枠) ・エシカル消費、フェアトレードのわかりやすい周知方法の提案 ・エシカル商品(料理、ファッション)の紹介、実践
	()	②地域課題の解決において実践的な活動 (地域共創支援枠)

※「3 課題活動に向けて大学に期待する活動」とは、大学の専門性(観光、まちづくり、農業、デジタル技術 等)や、学生の若い感性を活かした活動を指します。

4 課題解決に向けたこれまでの取組み・成果及び令和 4 年度の成果目標 ※これまでに取組みを実施していない場合は、令和 4 年度の成果目標のみ記載してください。	〈令和 4 年度の成果目標〉 ・啓発方法の提案 ・エシカル消費の実践 ・市関係部署とのヒアリング
5 大学のゼミ等の活動に対する地域からの支援 ※ゼミ等の活動に対し、地域で支援できる事項があれば可能な限り具体的に記入してください。	・打ち合わせ場所（会議室）の提供 ・市公民館との調整（実践場所）
6 地域での連携団体・企業 ※活動を行う際に情報収集や意見交換等で連携する団体等があれば記入してください。	白山市役所（企画課、消費生活センター等）

Ⅲ 連携して取り組みたい大学のゼミ等について ※希望があれば記入してください。

1 連携して取り組みたい大学・ゼミ教員名	特になし
2 連携を希望するゼミ等と事前に申請内容を相談していますか。 ※どちらかに○をつけてください。	() ①ゼミ等と事前に申請内容を相談している。 (○) ②ゼミ等と事前相談していない。

令和4年度地域課題研究ゼミナール支援事業 「地域からの要望」

※要望書は課題ごとに作成してください。

I 申請団体及び連絡担当者

市町名	白山市	団体名	企画振興部
連絡担当者 ※活動の窓口となる担当者を記入してください。	所 属：SDG s ・地方創生推進室 役職・氏名：室長補佐 北村 光志 電話番号：076-274-9503 FAX：076-274-9518 メールアドレス：m-kitamura@city.hakusan.lg.jp		

II 要望内容

1 地域が有する課題 (困っていること) ※地域の現況を記載してください。 ※イメージ図や写真があれば貼付してください。	概要 (1行程度)	・市の計画づくりの審議会等の公募の方法 ・ワールドカフェ等住民によるまちづくりへの意見集約方法 ・ファシリテータの確保と育成
	内容	行政への市民参画と効果の拡大方法について、自治体では総合計画をはじめ様々な計画を策定し、それに基づいて施策を展開している。 市民アンケート調査や、審議会等への委員公募、パブリックコメントなど、市民に市政に参画してもらい、市民の声を反映するなど、協働のまちづくりに努めている。 若者や女性の参加が少ないなどの課題もあることから、もっと広い世代や多様な立場の方から意見をいただき、住みやすさや将来あるべきまちづくりに取り組むための手法が課題である。 行政がSDG sを踏まえ、市民の声を施策に取り組むうえで効果的な方法を模索することが課題となっている。
2 課題解決に向けて地域ができること	これまでの取り組み情報の提供	
3 課題解決に向けて大学に期待する活動 ※どちらかに○をつけ、右枠に大学に期待する活動内容を記入してください。	(○)	①地域課題の調査・分析、地域活性化策の提案 (地域課題発掘枠) ・プレゼンやファシリテータの確保育成方法の提案 ・ワールドカフェ等の市民参加型の会議のメリットデメリット
	()	②地域課題の解決において実践的な活動 (地域共創支援枠)

※「3 課題活動に向けて大学に期待する活動」とは、大学の専門性（観光、まちづくり、農業、デジタル技術 等）や、学生の若い感性を活かした活動を指します。

4 課題解決に向けたこれまでの取組み・成果及び令和４年度の成果目標 ※これまでに取組みを実施していない場合は、令和４年度の成果目標のみ記載してください。	〈令和４年度の成果目標〉 ・地域づくり団体との意見交換 ・市関係部署とのヒアリング
5 大学のゼミ等の活動に対する地域からの支援 ※ゼミ等の活動に対し、地域で支援できる事項があれば可能な限り具体的に記入してください。	・打ち合わせ場所（会議室）の提供 ・公共施設等の情報提供
6 地域での連携団体・企業 ※活動を行う際に情報収集や意見交換等で連携する団体等があれば記入してください。	白山市役所（企画課、広報広聴課等） 地域づくり塾NASUKAH

Ⅲ 連携して取り組みたい大学のゼミ等について ※希望があれば記入してください。

1 連携して取り組みたい大学・ゼミ教員名	特になし
2 連携を希望するゼミ等と事前に申請内容を相談していますか。 ※どちらかに○をつけてください。	() ①ゼミ等と事前に申請内容を相談している。 (○) ②ゼミ等と事前相談していない。